

HUAWEI P30 lite

取扱説明書



HUAWEI

目次

便利な機能

主な使い方のヒント	1
カメラのヒント	2
端末の管理	7

ご使用になる前に

初期設定	11
------	----

ジェスチャーと操作

スマート認識	14
画面上の注目すべき場面の録画	15

ホーム画面

ナビゲーションバー	17
ショートカットスイッチを使用してよく使う機能をすばやく有効化	18
通知パネルとステータスバー	18
画面ロックとロック解除	21
ホーム画面の管理	22

連絡先

名刺の管理	26
連絡先の管理	27
サードパーティ製アプリの連絡先を統合	29

電話

基本的な通話機能	31
VoLTE	32
VoWi-Fi を使用した新しい通話体験	33

UQ モバイルポータルアプリ

はじめに	34
起動	34
初期設定	34

あんしんフィルター for UQ mobile

はじめに	37
起動	37
初期設定	37

カメラ

基本機能	40
AI 撮影、インテリジェントなシーン識別	42
ポートレートモードで人物をキレイに撮影する	43

	目次
AR レンズ を使用して面白い写真を撮影する	43
ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する	43
パノラマ	44
3D パノラマを使用した 360 度撮影	45
プロモード	45
ライトペインティングモード	47
その他の撮影モード	51
ギャラリー	
ハイライトアルバムのカスタマイズ	53
写真の管理	53
端末管理	
最適化の使用	57
モバイルデータ通信量の管理	57
スマート省電力の有効化	57
メッセージと E メール	
メール(CS)	59
メッセージアプリ	62
メールアプリ	63
カレンダー	
カレンダーの操作	65
To-Do をインポートしてタスクを整理する	65
世界の休日の表示	65
時計	
時計の使用	67
メモ帳	
メモを管理して記録を整理する	69
ツール	
音声レコーダーを使用した音声メモの作成	70
マルチユーザー	
複数のユーザーの設定と使用	71
デバイス接続	
端末の Bluetooth 機器への接続	73
USB デバイスの接続	74
Huawei Share	75
セキュリティとプライバシー	
顔情報の登録と顔認証の有効化	78
指紋	78

	目次
位置情報サービスの有効化/無効化	81
PrivateSpace	81
アプリロックの有効化	85
バックアップと復元	
データのバックアップ: データ消失の防止	86
端末のリセット	86
共有フォルダを使用したコンピュータまたはホーム NAS デバイスへのデータのバックアップ	87
Wi-Fi とネットワーク	
Wi-Fi	88
インターネット接続	90
他の端末とのモバイルネットワークの共有	91
アプリと通知	
ツインアプリ: 1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン	93
サウンドと表示	
通知の鳴動制限モードの設定	94
サウンドの設定	94
目の疲れを防止するブルーライトカットモードの有効化	95
その他の表示設定	95
スマートアシスタント	
ユーザー補助	97
システム	
入力方法の変更	99
ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする	99
一般設定	99
システム更新	
オンラインによる端末システムの更新	103
法律上の注意事項	
法律上の注意事項	104
個人情報とデータセキュリティ	105
ヘルプの取得	106

便利な機能

主な使い方のヒント

HiVision: スキャンしてさらに詳しく知る

健康に良い食事を続け、体調を保ちたいですか？海外旅行中に海外のロゴ、道路標識、レストランのメニューを理解したいですか？商品情報をすぐに取得して比較し、素早く購入したいですか？HiVisionを使用すると、これらをすべて素早く簡単に行うことができます。

HiVisionには以下の機能があります。

- **対象物の識別**: 道路標識や有名な絵画をスキャンして識別します。地理的な位置や絵画に関する情報を記載したカードが生成されます。
- **ショッピング**: 対象物をスキャンして、購入時のお勧め情報を取得します。
- **翻訳**: 外国語の言葉やフレーズをスキャンし、すぐにオンライン翻訳を実行して、海外旅行を気軽に楽しむことができます。
- **コードのスキャン**: QRコードやバーコードをスキャンし、連絡先の追加や商品情報の取得を行います。

 この機能は、一部の国および地域のみ対応しています。

顔情報の登録と顔認証の有効化

顔認証により、パスワードを入力しなくても迅速かつ安全に端末のロックを解除できます。

- ⚠️ **顔認証は、所有者アカウントでログインしている場合にのみ使用できます。これはPrivateSpaceではサポートされていません。**
- ロック画面のパスワードが3日以上連続で入力されていない場合、または端末がリモートでロックされた、あるいは再起動された場合、顔認証は使用できません。
- 顔認証を使用する場合、目を開いた状態で20～50cm(約8～20インチ)の距離から端末に対してまっすぐに顔を向けます。顔を正確にスキャンできるように、この機能を使用する場合は暗い場所や顔に直射日光が当たる場所を避けてください。
- 現在、顔の登録は1つのみ可能です。再登録する場合は、現在の顔データを削除してください。

1  **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > **顔認証** に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。

 ロック画面のパスワードを設定していない場合は、まずパスワードを設定します。6桁のPIN以外に、次の種類のパスワードを設定できます。**パターン**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN**、**パスワード**。

2 **スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択すると、端末を持って顔に近づけた場合、画面が点灯し、ロックが解除されます。この機能が不要な場合、未選択のままにします。**顔を登録** をタップし、顔の登録を行います。

3 **顔認証モード**:

- **ダイレクトロック解除**: 画面を点灯します。ユーザーの顔の特徴が認識され、画面のロックが解除されます。

- **スライドしてロック解除**: 画面を点灯します。端末でユーザーの顔の特徴が特定された後、ロック画面をスライドしてロックを解除します。
- **スマートロック画面の通知表示**: スライドしてロックを解除 および スマートロック画面の通知 を有効にします。ロック画面では通知の詳細が非表示になり、所有者の顔が認証された後にのみ表示されるようになります。
- **アプリロックへのアクセス**: アプリロックへのアクセス を有効にすると、アプリロックとロックされたアプリへのアクセスに顔認証が使用されるようになります。

ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする

アプリを閉じたり、ホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動し、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**: ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

ショートカットスイッチを使用してよく使う機能をすばやく有効化

モバイルデータやアクセスポイントをすばやく有効または無効にしたい場合があります。ステータスバーを下にドラッグして、頻繁に使用する機能を有効にすることができます。



カメラのヒント

AI 撮影、インテリジェントなシーン識別

AI撮影 は自動的に現在の撮影シーンを識別し、写真の色や明るさをインテリジェントに調整するため、何度もカメラを調整しなくても完璧な写真を撮影できます。

AI撮影 は端末内蔵の機能です。この機能では、現在の撮影シーンをインテリジェントに識別し、写真の色や明るさを自動的に調整するため、より美しく補正されます。

AI撮影 には以下の機能があります。

- **インテリジェントな撮影シーン識別と写真効果の最適化**: **AI撮影** はステージ、ビーチ、青空、草木、テキストなどの複数のシーンをサポートしています。スマート識別後は、**AI撮影** によってカメラの色と明るさが自動調整され、ポートレートモード、草木モード、テキストモードなどの最適な推奨モードが提示されるため、写真の効果が高まります。
- **事前に設定された各種カメラ設定を自動的に有効化**: カメラをオンにして標準カメラモードに切り替えると、撮影シーンに応じて即時に設定されるカメラ設定により **AI撮影** が自動的に有効化されるため、撮影のたびにマニュアル調整を繰り返す必要がありません。
- **AI撮影** は、アウトカメラを使用して撮影する場合にのみ使用できます。
 - ポートレートモード、ワイドアパーチャモード、アニメーション写真モードに切り替えると、**AI撮影** は自動的に無効になります。

ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフィーやグループ撮影がさらに美しくなります。ポートレートモードのオプションを使用することで、美しく、思い出に残る写真を撮影することができます。

● **カメラ** > **ポートレート** に移動し、いずれかの効果を選択してから  タップし、ポートレートを撮影します。

- **ぼかし効果**: ビューファインダーの  アイコンをタップして、ぼかし効果を選択します。
 - 比較的明るさが十分確保された背景にある光源(ネオン光または街灯など)を使用すると、より優れたぼかし効果が生まれます。
- **舞台照明**: ビューファインダーの  アイコンをタップして、舞台照明効果を選択します。
 - 遠くから撮影すると、舞台照明効果が減少します。

3D パノラマを使用した 360 度撮影

3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

- **被写体の撮影**: ● **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。  を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。

3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。

パノラマモードを使用したパノラマ写真の撮影

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

- i** パノラマ写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

- 1 **カメラ** > **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 2 画面下部の  をタップし、撮影方向を設定します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。
- 4 終了したら、 をタップします。写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



カスタム撮影モード

事前に設定されている機能以外でカメラを使ってみたいと思うことがあります。必要に応じて、撮影モードをダウンロードしたり削除したりすることができます。

撮影モードをダウンロードする: **カメラ**を開き**その他ダウンロード**に移動します。ダウンロードする撮影モードを選択して、**追加**をタップします。

撮影モードを更新する:撮影モードを更新するには、**その他**画面に移動します。利用可能な更新がある場合、撮影モードの横に赤い点が表示されます。画面の指示に従って更新できます。

撮影モードを削除する:**その他** >  に移動し、 をタップして必要のない撮影モードを削除します。

i カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。

AR レンズ を使用して面白い写真を撮影する

AR レンズ を使用すると、写真を面白く、目立たせることができます。

カメラ > **AR レンズ** に移動します。

以下の複数の効果から選んで写真を目立たせることができます。

- **3D Qmoji:** 3D Qmoji をタップしてアニメのQmojiを選択します。すると、Qmojiがユーザーの顔の表情や動きをまねてそれに合わせて再現します。 をタップして録画するか、または  をタップしてから、 を長押しして自分だけのQmojiをカスタマイズします。

- 写真またはビデオにメイクアップ効果を追加する: エフェクト をタップして、目的のダイナミックスタンプを選択します。次に、 をタップして写真を撮影するか、 をタップして、スタンプでビデオを撮影します。一部のアニメスタンプには効果音が付いており、自動的にビデオに追加されます。

プロモードで風景写真を撮る

風景写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思いませんか。プロモードを使用すると、個性的な風景写真を撮影できます。

 カメラ > その他 > プロ に移動してプロモードに切り替えます。

被写体に合わせて測光モードを選択する:  をタップし、測光モードを選択します。

 : マトリックス

 : 中央

 : スポット

測光モード	適用シーン
マトリックス	広大な風景や海
中央	写真の中央にあり、背景より目立つ被写体
スポット	際立たせたい被写体が花や木など、比較的小さい場合

撮影シーンに応じた明るさの調整:

- ISOの調整: ISO をタップし、ISOスライダーをドラッグして値を調整します。
 -  過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。ISOの推奨値は、昼間は100 ~ 200、夜景では400前後です。
- シャッター速度の調整: S (シャッタースピード) をタップし、シャッタースピードスライダーを目的のスピードにドラッグします。
 -  動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80~1/125をお勧めします。動きのあるシーン(波など)では、三脚に端末を取り付け、遅いシャッター速度を使用することをお勧めします。動いている被写体を撮影するときは三脚を使用するとよい結果が得られます。
- 露出補正の調整: EV⁺ をタップし、EVスライダーを目的の値にドラッグします。

オートホワイトバランスの調整:  をタップし、AWBスライダーを目的の値にドラッグします。

-  ● 直射日光が当たる場所で撮影する場合は、 を選択します。光が弱い場所では、 を選択します。
- 色温度を変更するには、 をタップします。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒色トーンや静寂、あるいは未来的な雰囲気を出すには、K値を小さく設定します。

撮影する被写体に基づいたAFの調整: **AF**^{*} をタップして、AFスライダーをドラッグすることで効果を調整できます。

フォーカスモード	適用シーン
AF-Sモード	動きのないシーン(山など)
AF-Cモード	動きのあるシーン(流れる水や波など)
MFモード	際立たせる被写体(花の接写など)

端末を水平に保って撮影する:  をタップし、水準器を有効にします。この機能を有効にすると、ビューファインダーに水平の補助線が2本表示されます。この点線と実線が重なれば、カメラは水平に配置されています。

- プロモードでは、設定を変更すると、他の設定も一部変更されることがあります。
- 上記の推奨設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

プロモードを使用してポートレートを撮影する

プロのようなポートレートを撮りたいと思うことはありませんか。プロモードを使用すると、カメラの設定を調整して、プロ並のポートレートを撮影できます。

 **カメラ** > **その他** > **プロ** に移動してプロモードを有効にします。

測光モードを選択する: ポートレートを撮影する場合は、 または  をお勧めします。被写体(顔など)がビューファインダーの中央に位置するように調整します。次に、 をタップして好みの測光モードを選択します。

周囲の明るさに応じた明るさの調整

- **ISOの調整**: ポートレートを撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを下げることをお勧めします。また、実際の照明状況に合わせたISOの調整も必要になります。この機能を利用するには、ISOをタップし、左右にスライドさせて値を調整します。

適用シーン	推奨ISO値
屋外	100 ~ 200
屋内	400前後
夜景	400 ~ 800

- **シャッター速度の調整**: 周囲の明るさが不十分な場合はシャッター速度を遅くし、明るさが強い場合は速くします。静止したポートレートの推奨シャッター速度は、1/80 ~ 1/125です。動いている被写体を撮影するには、1/125以上のシャッター速度を選択します。 **S** (シャッター速度) をタップし、好みの速度が中央に来るまでスライドさせます。
- **露出補正の調整**: 被写体や背景が薄暗い場合は露出補正值を上げ、明るさが強い場合は露出補正值を下げます。 **EV**^{*} をタップし、好みの値が中央に来るまでスライドさせます。

オートホワイトバランスの調整: 照明状況に応じてホワイトバランスモードを選択します。明るい日差しの下で撮影する場合は  を、薄暗い日は  を選択してください。 をタップし、好みの値が中央に来るまでスライドさせます。

フォーカスの調節: ポートレート撮影で人物を目立たせるには、マニュアルフォーカス(MF)の使用をお勧めします。クローズアップ写真を撮る場合は、ビューファインダーでクローズアップの対象をタップして、適宜ピントを調整します。

-  ● プロモードのパラメータには互いに影響するものがあるので、一方のパラメータの調整によって他方に意図しない変化が起きることがあります。意図したとおりの写真を撮るために、設定の際はこの点に注意してください。
- 上記の推奨設定は、あくまでも目安です。ベストショットにするためには、実際のシーンに合わせて調整する必要があります。

端末の管理

パスワードのキーチェーンを使用する

パスワードのキーチェーンではパスワードが保存され、入力されるので、端末のアプリへのログインがより安全かつ簡単になります。

パスワードのキーチェーンの有効化または無効化: パスワードのキーチェーンはデフォルトで有効になっています。端末の更新後には、次の手順に従ってパスワードのキーチェーンを有効にします。

- 1 ロック画面のパスワードを入力して、パスワードのキーチェーン設定にアクセスします。 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **パスワードのキーチェーン** に移動します。
- 2 ロック画面のパスワードを入力して、**パスワードのキーチェーン** 画面にアクセスします。
- 3 **パスワードのキーチェーン** を有効にします。最初にアプリにログインした場合、またはログアウト後、**保存** を選択すると、ユーザー名とパスワードが保存されます。次回ログイン時、顔認証など、選択した方法を使用して自動的にユーザー名とパスワードを入力し、アプリにログインします。
- 4 アプリごとに **自動入力設定** を有効または無効にします。アプリのオートフィル機能が有効になっている場合、ログイン時に顔、指紋、またはロック画面のパスワードを使用してパスワードを入力できます。この機能が無効になっている場合、ユーザー名とパスワードを手動で入力する必要があります。

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をさらに保護するレイヤーが追加され、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化:  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **アプリのロック** に移動します。初めてアプリロック機能を有効化する場合、パスワードとパスワード保護の質問を設定して、アプリロックに入ります。アプリロック画面で、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開くときには、パスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場

合は、パスワードを忘れた をタップし、パスワード保護の質問の答えを入力し、パスワードをリセットします。パスワード保護を設定していない場合は、パスワードを忘れた オプションは使用できません。

アプリロックパスワードとパスワード保護の変更: アプリロック画面で  をタップし、パスワードを変更または パスワード保護を変更 をタップすることで、アプリロックパスワードやパスワード保護を変更できます。

PrivateSpace の有効化

端末で写真などを見せられているときに、個人情報が見られることが心配になる場合があります。PrivateSpaceを使用すると、指紋やパスワードでしかアクセスできない、端末内の保護されたスペースに個人情報を格納することができます。

-  **最大3人のユーザーを、端末と PrivateSpace の ユーザー に追加できます。** 設定 > ユーザーとアカウント > ユーザー > ユーザーを追加 に3人のユーザーをすでに追加している場合、PrivateSpace にユーザーを追加することはできません。

PrivateSpaceの有効化: 初めてPrivateSpaceを使用する場合は、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 有効** に移動し、画面の指示に従ってPrivateSpaceを作成します。

-  1ユーザーにつき、1つのPrivateSpaceのみ作成できます。

MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早く MainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。端末の再起動後、まず自分のパスワードを使ってMainSpaceにログインする必要があります。これにより、ロック画面からMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。

PrivateSpaceへの移動: 指紋やパスワードを使用して、ロック画面から直接PrivateSpaceに入ることができます。MainSpaceで  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > ログイン** からPrivateSpaceに移動することもできます。

PrivateSpaceの終了: PrivateSpaceを終了すると、PrivateSpaceが使用するすべてのシステムメモリが解放されます。必要に応じていつでもPrivateSpaceに切り替えることができます。PrivateSpaceを終了するには、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 終了** に移動します。

PrivateSpaceの削除: PrivateSpaceを削除すると、PrivateSpace内に格納されているすべてのアプリとデータが完全に削除され、このデータを復元できなくなります。PrivateSpaceは以下の方法で削除できます。

- MainSpaceから  **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** に移動し、 > **PrivateSpaceを削除** をタップします。
- PrivateSpaceから  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 削除** に移動します。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。

-  **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙 > 壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

画像をホーム画面の壁紙として設定する: ギャラリー をタップするか、またはお好みの画像を選択し、画面の指示に従って ロック画面、ホーム画面、もしくは 両方 を選択します。

ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  ギャラリーで、お気に入りの写真を開いて、  > 登録 > 壁紙 に移動し、画面上の指示に従ってホーム画面の壁紙としてその写真を設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

画面ロック、天気、メモ帳、時計、連絡先、またはカレンダーなどのウィジェットをホーム画面にすばやく追加したい場合があります。ホーム画面を使いやすいように整理するために、ホーム画面上でウィジェットを追加、移動、削除することができます。

ウィジェットの追加: ホーム画面の何もない部分を長押しすると、ホーム画面の編集モードが起動します。ウィジェット をタップし、ウィジェットを長押ししてホーム画面上の何もない領域までドラッグするか、該当のウィジェットをタップします。



- ① ホーム画面上にウィジェットを配置するための十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、削除 を選択します。

ウィジェットの移動: 端末が振動するまで、ホーム画面上のウィジェットを長押しします。ウィジェットを画面上の好きな場所にドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

 **設定** を開き、**ホーム画面と壁紙** > **ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

 **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する**: アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

TalkBack による画面テキストの読み上げ

画面上で、タップ、選択、または有効化したコンテンツを端末が読み上げます。そうすることで、画面上のコンテンツを明確に読み取れない場合の端末操作が容易になります。

- 1  **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **TalkBack** >  に移動してTalkBack設定画面を開きます。
- 2 **TalkBack** を有効化し、**OK** をタップします。TalkBackを初めて有効にすると、端末でチュートリアルが起動します。チュートリアルをもう一度再生したい場合は、 をタップしてTalkBack設定画面を開き、チュートリアルを起動します。
- 3  をタップし、**タッチガイド** を有効にします。端末がタップした内容を読み上げます。

誤ってTalkBackを有効にしてしまう場合があります。TalkBackを無効にするには、電源ボタンを端末が振動するまで長押しし、2本の指で画面に触れて3秒以上そのままにします。

ご使用になる前に

初期設定

インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続

-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
 - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
 -  電池の消費を節約し、データ使用量を減らすには、不要な場合はモバイルデータ通信を無効にします。

顔情報の登録と顔認証の有効化

顔認証により、パスワードを入力しなくても迅速かつ安全に端末のロックを解除できます。

-  ● 顔認証は、所有者アカウントでログインしている場合にのみ使用できます。これはPrivateSpaceではサポートされていません。
 - ロック画面のパスワードが3日以上連続で入力されていない場合、または端末がリモートでロックされた、あるいは再起動された場合、顔認証は使用できません。
 - 顔認証を使用する場合、目を開いた状態で20～50cm(約8～20インチ)の距離から端末に対してまっすぐに顔を向けます。顔を正確にスキャンできるように、この機能を使用する場合は暗い場所や顔に直射日光が当たる場所を避けてください。
 - 現在、顔の登録は1つのみ可能です。再登録する場合は、現在の顔データを削除してください。
- 1  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > 顔認証** に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。
 -  ロック画面のパスワードを設定していない場合は、まずパスワードを設定します。6桁のPIN以外に、次の種類のパスワードを設定できます。**パターン、4桁のPIN、カスタムPIN、パスワード。**

2 スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする を選択すると、端末を持って顔に近づけた場合、画面が点灯し、ロックが解除されます。この機能が不要な場合、未選択のままにします。顔を登録 をタップし、顔の登録を行います。

3 顔認証モード:

- **ダイレクトロック解除:** 画面を点灯します。ユーザーの顔の特徴が認識され、画面のロックが解除されます。
- **スライドしてロック解除:** 画面を点灯します。端末でユーザーの顔の特徴が特定された後、ロック画面をスライドしてロックを解除します。
- **スマートロック画面の通知表示:** スライドしてロックを解除 および スマートロック画面の通知 を有効にします。ロック画面では通知の詳細が非表示になり、所有者の顔が認証された後にのみ表示されるようになります。
- **アプリロックへのアクセス:** アプリロックへのアクセス を有効にすると、アプリロックとロックされたアプリへのアクセスに顔認証が使用されるようになります。

指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやアプリロックにアクセスしたりすることができます。

- ⚠️ 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されない場合は、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れたりしていないことを確認してください。

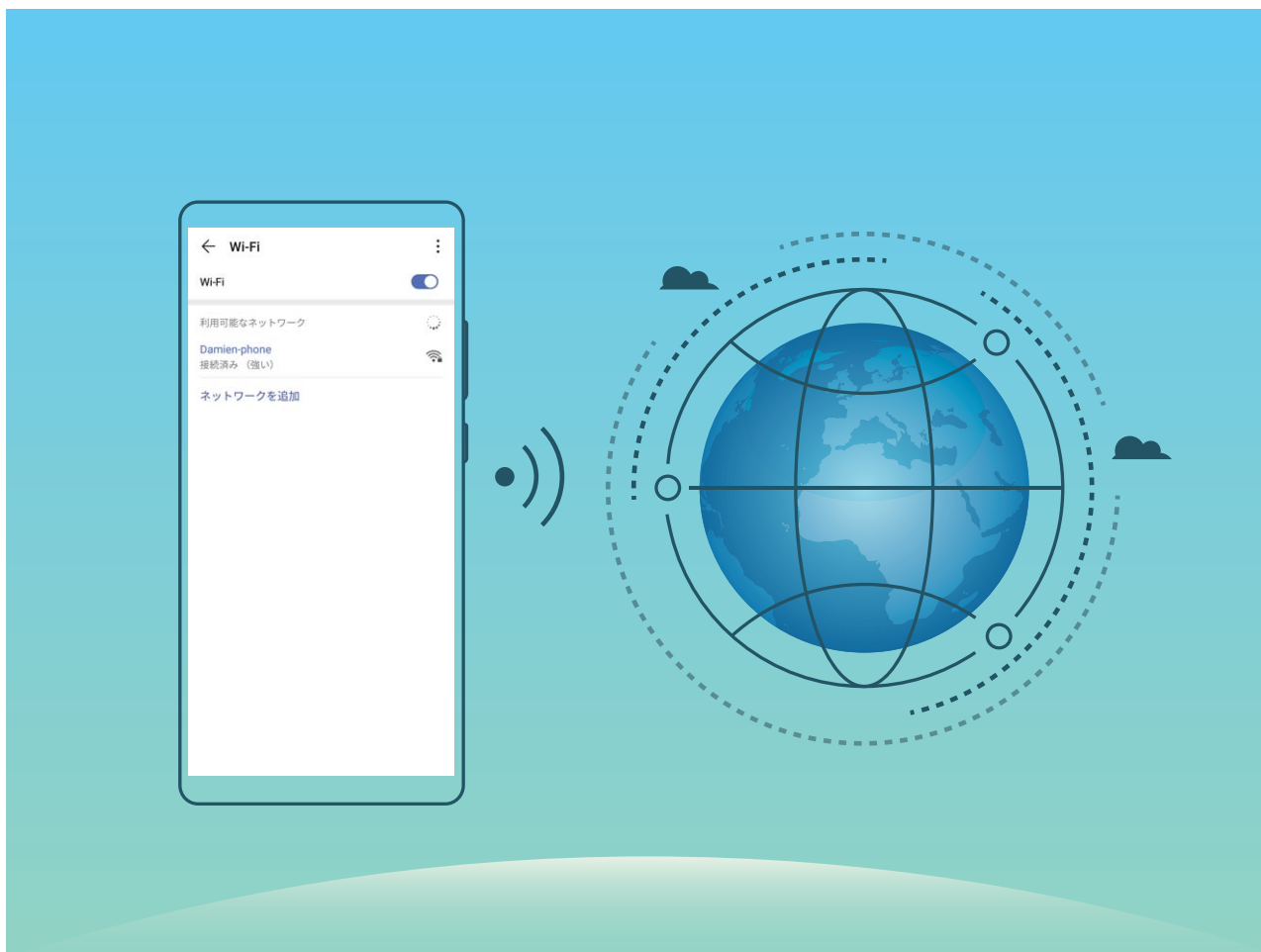
- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** > **ロック解除方法を変更** に移動して、**パターン**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN** または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先のさまざまな部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

Wi-Fi への接続

端末をWi-Fiネットワークに接続することで、モバイルデータの使用量を節約できます。

- i 個人データや金融情報への不正アクセスなどの潜在的なセキュリティリスクを防ぐため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには十分な注意が必要です。



Wi-Fiネットワークへの接続:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。Wi-Fiネットワークをタップしてアクセスし、ネットワークパスワードを入力するか、必要に応じて認証情報を入力します。または、メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークを追加** をタップし、画面の指示に従ってネットワークアクセスポイントの名前とパスワードを入力し、そのポイントを追加します。

ジェスチャーと操作

スマート認識

HiVision: スキャンしてさらに詳しく知る

健康に良い食事を続け、体調を保ちたいですか？海外旅行中に海外のロゴ、道路標識、レストランのメニューを理解したいですか？商品情報をすぐに取得して比較し、素早く購入したいですか？HiVisionを使用すると、これらをすべて素早く簡単に行うことができます。

HiVisionには以下の機能があります。

- **対象物の識別**: 道路標識や有名な絵画をスキャンして識別します。地理的な位置や絵画に関する情報を記載したカードが生成されます。
- **ショッピング**: 対象物をスキャンして、購入時のお勧め情報を取得します。
- **翻訳**: 外国語の言葉やフレーズをスキャンし、すぐにオンライン翻訳を実行して、海外旅行を気軽に楽しむことができます。
- **コードのスキャン**: QRコードやバーコードをスキャンし、連絡先の追加や商品情報の取得を行います。

 この機能は、一部の国および地域のみ対応しています。

QRコードとバーコードの読み取り

QRコードやバーコードの情報を素早く読み取りたいことはないでしょうか。HiVisionを使用すれば、QRコードやバーコードを素早く読み取って、その結果に基づいて購入情報の取得や連絡先の追加などができます。

 この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。

QRコードやバーコードのスキャン: 端末のロックを解除したら、ホーム画面を下にスワイプし、 をタップしてHi Visionを開きます。HiVision画面で、 をタップし、QRコードまたはバーコードをスキャンフレーム内に収めて情報を取得します。結果画面では、以下の操作を行うことができます。

-  をタップして、情報をクリップボードにコピーします。
- QRコードに連絡先情報が含まれている場合は、 をタップして、その情報を **連絡先** に追加します。

スキャンして簡単に翻訳

HiVisionにより、外国語のテキストを素早く翻訳できます。

-  ● この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。
- この翻訳機能は現在、中国語、英語、日本語、韓国語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、ポルトガル語に対応しています。

- 1 端末のロックを解除したら、ホーム画面の中央から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
- 2 AI Vision 画面で  をタップしたら、ソース言語とターゲット言語を選択して、テキストをビューファインダーのフレームに入れ、翻訳されるのを待ちます。

商品のスキャン

知らない商品を発見したけれど、購入したくてもそれが見つからないことがあります。商品をスキャンすると、類似するお奨めの商品が表示されるので、お気に入りの品物を購入するのに便利です。

-  この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。

- 1 端末をロック解除したら、ホーム画面の中央から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
- 2 AI Vision 画面で、 をタップして、購入したい商品に端末を向けます。自動的にスキャンされ、類似するお奨めの商品が表示されます。

スキャンして対象物をすぐに認識

これまで旅行中に見たランドマークや展覧会で見たお気に入りの絵について知りたいと思ったことはないでしょうか。気になった写真や対象物をHiVisionでスキャンして、詳細を表示しましょう。

-  この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。

HiVisionを使用すると、限りない情報と楽しみで世界が広がります。絵画のスキャンを例として使い、試しに以下を実行します。

- 1 端末をロック解除したら、ホーム画面の中央部分から下にスワイプして、 をタップし、AI Vision を開きます。
- 2 AI Vision 画面で、 をタップし、絵がフレームの中心に来るようにしてください。AI Vision が絵を自動的に認識し、絵の名前や作者を含む詳細な情報カードを生成します。

画面上の注目すべき場面の録画

スクリーン録画機能は、チュートリアルビデオを作成したり、ゲームの裏ワザを録画して端末で友人と共有したりする場合に役に立ちます。

-  ● 発着信により、スクリーン録画は終了します。
 - スクリーン録画の前に端末の録音機能を使用している場合、**マイクを有効にする** がデフォルトで無効になっています。
 - **マイクを有効にする** を有効にすると、周囲のすべての音が録音されます。スクリーン録画は静かな場所で行うことをお勧めします。

ショートカットによる録画の開始: ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、 >  をタップして画面の録画を開始します。必要に応じて、**マイクを有効にする** の有効/無効を切り替えることができます。録画を終了するには、画面の左上の  をタップします。



キーの組み合わせによる録画の開始: 電源ボタンと音量アップボタンを同時に長押しすると、録画が開始されます。必要に応じて、**マイクを有効にする** の有効/無効を切り替えることができます。録画を終了するには、**電源ボタンと音量アップボタン**を再度同時に長押しします。



録画した画面は **ギャラリー** で確認できます。

ホーム画面

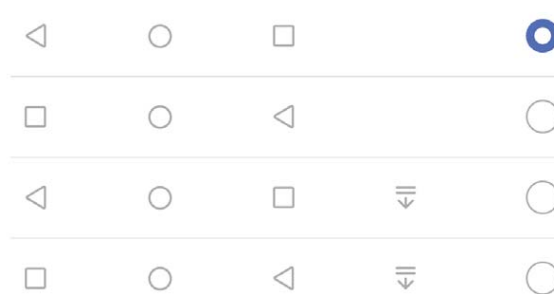
ナビゲーションバー

ナビゲーションバーの配置の設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前のページに戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

ナビゲーションバーレイアウトを設定するには、 **設定** を開き、**システム > システムナビゲーション > 3つのキーによるナビゲーション > 設定** へ移動し、ナビゲーションキーの組み合わせを選択した後に使用頻度に応じて **ナビゲーションキーを非表示** を有効または無効にします。

ナビゲーションキーの組合せ



-  **戻るキー**: タップすると、前のページに戻るか、アプリが終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
-  **ホームキー**: タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、Google Assistant アイコンが表示されます。このアイコンを上から下にスワイプすると、Google Assistant 機能が有効になります。
-  **履歴キー**: タップすると、最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
-  **下方スワイプ通知キー**: タップすると、通知パネルが開きます。

履歴キーを使用したバックグラウンドアプリの管理

最近使用したアプリに簡単に切り替えたい場合、履歴キーを使用してみてください。履歴キーを使用すると、最近使用したアプリにすぐに切り替えることができます。このキーを使ってバックグラウンドアプリを閉じ、端末の動作速度を上げることもできます。

-  をタップします。最近使用したバックグラウンドアプリの表示、切り替え、終了、ロックができます。
- **最近使用したアプリの表示**: 最近使用したアプリが画面に表示され、左右にスワイプして確認できます。

- **最近使用したアプリへの切り替え**: 画面を左右にスワイプして使用したいアプリを見つけ、アプリタブをタップします。
- **アプリの終了**: アプリタブを上にもスワイプすると、該当するアプリが終了します。
- **すべてのアプリの終了**:  をタップするとすべてのアプリを終了できます。

ジェスチャーによるナビゲーション

ジェスチャーを使用すると、前の画面に戻る、ホーム画面に戻る、最近のタスクを表示するなどの操作がすばやく行えます。

 **設定** を開き、**システム > システムナビゲーション** に移動し、**ジェスチャー** を選択します。ここで次のことができます。

- **前の画面に戻る**: 画面の片側から内側に向かってスワイプします。
- **ホーム画面に戻る**: 画面の下端から上に向かってスワイプします。
- **最近のタスクを表示する**: 画面の下端から上に向かってスワイプして、押したままにします。アプリを閉じるにはアプリのプレビューを上にもスワイプし、すべてのアプリを閉じるには  をタップします。
- **Googleアシスタントを有効にする**: **設定** をタップし、**Googleアシスタント** を有効にします。画面下隅(左または右)から上にもスワイプすると、Googleアシスタントが有効になります。

ショートカットスイッチを使用してよく使う機能をすばやく有効化

モバイルデータやアクセスポイントをすばやく有効または無効にしたい場合があります。ステータスバーを下にドラッグして、頻繁に使用する機能を有効にすることができます。



通知パネルとステータスバー

通知アイコンとステータスアイコンについて

ステータスバーのアイコンを見ると、ネットワーク接続、電池残量、端末がサイレントモードのときに受信した新着メッセージなど、端末の全体的な状態をすぐに確認できます。

ステータスアイコン: ステータスアイコンを見るだけで、ネットワーク接続、電波強度、電池残量、時刻といった端末の状態をすぐに確認できます。

 ネットワーク状態を示すアイコンは、地域やサービスプロバイダーによって異なる場合があります。

	電波強度		電波なし
4G⁺	4G+通信中	3G	3G通信中
4G	4G通信中	H	HSPA通信中
2G	2G通信中	LTE	LTE通信中
LTE⁺	LTE+通信中		NFC有効
H⁺	HSPA+通信中		機内モード有効
HD	VoLTE有効		Wi-Fi通信中
R	ローミング		GPSから位置情報を受信中
	Bluetooth有効		サイレントモード有効
	Wi-Fiネットワーク利用可		充電中
	バイブモード有効		電池残量わずか
	アラーム有効		SIMカードなし
	満充電		ヘッドセット接続
	省電力モード有効		パフォーマンスモード有効
	有線または無線外部出力使用中		超急速充電中
	急速充電中		視力保護モード有効
	通知の鳴動制限モード有効		USBケーブル接続中
	データ節約モード有効		Bluetooth機器の電池残量
	アクセスポイント有効		端末管理 リマインダー
	信号が不安定		現在のネットワークでは通話を接続できない
	読み上げテキスト選択機能が有効		スクリーンタイム管理 が有効

通知アイコン: 新しいメッセージがある場合、端末の通知やリマインダー、関連アイコンがステータスバーに表示されます。

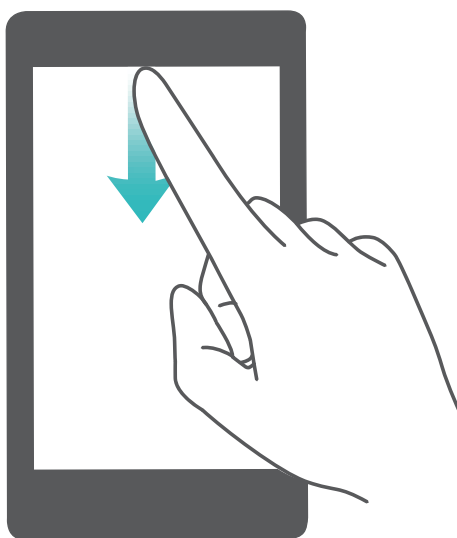
	不在着信		新着メール
	データのダウンロード中		新着ボイスメール
	予定の通知		データのアップロード中
	データの同期中		メモリー空き容量なし
	ログインまたは同期で問題が発生		同期失敗
	VPN接続中		その他の通知

通知パネルを開いて重要な情報を確認する

ステータスバーで、端末の通知や動作状態を確認します。

通知リマインダーがある場合、画面を点灯してステータスバーを下にスワイプすると、通知を表示できます。

画面のロックが解除されているときに通知パネルにアクセスする:ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。通知をタップして詳細を表示できます。



通知とステータスバーに通知の数を表示する、またはリマインダーを表示しない場合は、 **設定** をタップし、**通知 > その他の通知設定 > 通知方法** に移動します。次に、**件数** または **なし** を選択します。

アプリ通知の無効化

さまざまなアプリからプッシュ通知を受信すると、わずらわしく感じる場合があります。特定の通知を無効に設定できます。

 **設定** を開いて、**通知** をタップします。ここで次のことができます。

- **アプリから通知をブロックする**:アプリを選択し、**通知を許可** を無効にします。

- すべてのアプリから通知をブロックする:一括管理 を選択し、すべて を無効にします。

通知設定のカスタマイズ

通知設定をカスタマイズして、端末を使いやすくすることができます。

 **設定** を開いてから、**通知 > その他の通知設定** に移動します。ここで次のことができます。

- **通知による画面点灯の有効化**:通知を受信したときに画面を点灯するよう設定するには、**通知で画面を点灯** を有効にします。
- **通知ランプの有効化**:通知を受信したときに点滅するインジケータランプを表示するには、**LED通知** を有効にします。
- **通知スタイルの設定**:**通知方法** をタップし、**アイコン**、**件数**、または **なし** を選択します。

画面ロックとロック解除

ロック画面パスワードによるプライバシー保護

端末には、プライベートな写真、連絡先情報、Alipayのようなバンキングアプリなど、保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定することで、端末のロックを解除するたびにパスワードが要求されます。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を保護できます。

ロック画面パスワードの設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー > ロック画面のパスワード** に移動し、ロック画面パスワードのいずれかのタイプを設定します。

- **PINの設定**:PIN番号は、一連の数字で、初期設定は、6桁のPIN番号です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単かつシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。**ロック画面のパスワードを設定** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定します。または、**ロック解除方法を変更** をタップして **4桁のPIN** または **カスタムPIN** を設定します。
- **パターンの設定**:事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。**ロック画面のパスワードを設定 > ロック解除方法を変更 > パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定**:数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れると、端末のロックが解除できなくなるため、パスワードを忘れないようにしてください。**ロック画面のパスワードを設定 > ロック解除方法を変更 > パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定します。
- **スマートバンドによる端末のロック解除**:スマートバンドを使用すれば、バンドを端末から80cm以内に近づけると、画面が点灯します。画面をスワイプするとすぐに端末のロックが解除されます。**スマートロック解除** をタップし、画面の指示に従って設定を行います。

- 
指紋による端末のロック解除:ロック解除方法としてこの方法をお勧めします。指紋によるロック解除では、安全かつ簡単に端末のロックを解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないこと:**ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **ロック画面のパスワードを無効化** は選択しないことをお勧めします。
- パスワードを忘れないようにするために定期的に表示されるパスワードプロンプト:**画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、パスワードを入力して端末のロックを解除するように求められます。

画面をロックして端末をすぐに保護する

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

- 
ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます。端末をロックする方法を次に示します。

電源ボタンで画面を瞬時にロックする:いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

ワンタップ画面ロックで画面をロックする:ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。**ウィジェット > 画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

ホーム画面の管理

ホーム画面のアイコンの管理

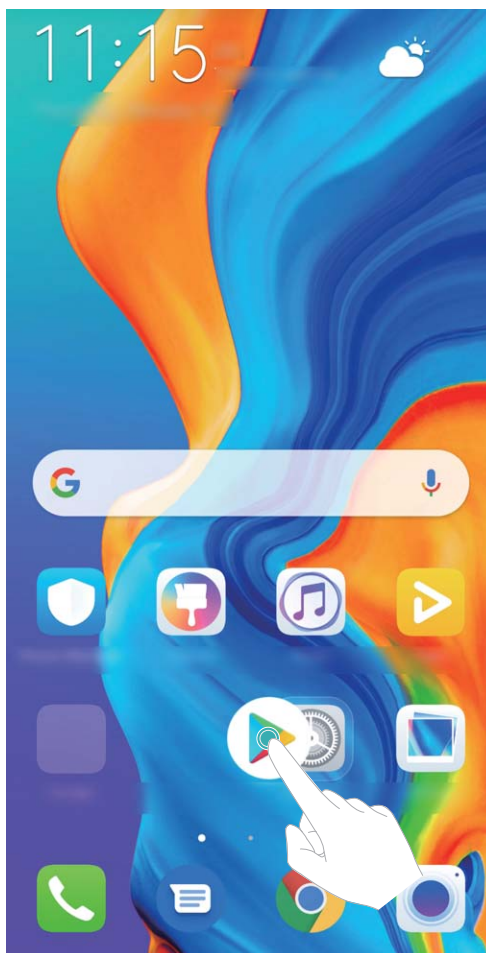
アプリのアイコンまたはフォルダの移動:ホーム画面でアプリまたはフォルダのアイコンを長押しし、端末が振動したらそのアイコンをホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

アプリのアイコンの削除:ホーム画面で、アンインストールするアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら **アンインストール** をタップします。

- 
システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。

ホーム画面の配置の固定:  **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙 > ホーム画面設定** に移動し、**配置を固定** を有効にします。

フォルダの作成:ホーム画面でアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンを別のアプリのアイコンの上までドラッグします。2つのアイコンが新しいフォルダ内に格納されます。



フォルダの削除: フォルダを開いて  をタップし、すべてのアプリを選択解除してから OK をタップします。フォルダが削除されて、フォルダ内にあったアプリのアイコンがすべてホーム画面に移動します。

フォルダ名の変更: フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

フォルダ内のアプリアイコンの追加または削除: フォルダを開き、 をタップします。フォルダに追加するアプリを選択し、削除するアプリを選択解除してから OK をタップします。

i アプリのアイコンをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアイコンを長押しし、端末が振動したらアイコンをホーム画面の空きスペースにドラッグすることでも削除できます。

ホーム画面の管理

ホーム画面にあふれるほどアイコンが増えてしまうことがあります。ホーム画面に新しいページを追加して、好きなようにカスタマイズすることができます。

ホーム画面の何もない部分を長押しすると、ホーム画面の編集モードが起動します。以下の操作を実行できます。

- **新しい画面ページの追加**: 新しい画面ページを追加するには、画面左側または右側の  をタップします。
- **空の画面ページの削除**: ページを削除するには、 をタップします。
 - ❗ 画面ページ上にアプリのアイコンまたはウィジェットがある場合、そのページを削除することはできません。
- **画面ページの並べ替え**: 移動する画面ページを長押しして、該当する場所にドラッグします。

- **デフォルトのホーム画面ページの設定**: 選択した画面をデフォルトのホーム画面ページに設定するには、ホーム画面上部の  をタップします。

ホーム画面の壁紙の設定

デフォルトの壁紙を変えたいことがあります。お気に入りの写真をホーム画面の壁紙として設定し、ホーム画面をカスタマイズできます。

 **設定** を開いて、**ホーム画面と壁紙** > **壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

画像をホーム画面の壁紙として設定する: **ギャラリー** をタップするか、またはお好みの画像を選択し、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、もしくは **両方** を選択します。

ギャラリーで写真を壁紙として設定: 素敵な写真を壁紙として設定したいときがあります。  **ギャラリー** で、お気に入りの写真を開いて、  > **登録** > **壁紙** に移動し、画面上の指示に従ってホーム画面の壁紙としてその写真を設定します。

ホーム画面のウィジェットの管理

画面ロック、天気、メモ帳、時計、連絡先、またはカレンダーなどのウィジェットをホーム画面にすばやく追加したい場合があります。ホーム画面を使いやすいように整理するために、ホーム画面上でウィジェットを追加、移動、削除することができます。

ウィジェットの追加: ホーム画面の何もない部分を長押しすると、ホーム画面の編集モードが起動します。 **ウィジェット** をタップし、ウィジェットを長押ししてホーム画面上の何もない領域までドラッグするか、該当のウィジェットをタップします。



- i** ホーム画面上にウィジェットを配置するための十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、空の画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

ウィジェットの削除: ホーム画面上のウィジェットを長押しし、端末が振動したら、**削除** を選択します。

ウィジェットの移動: 端末が振動するまで、ホーム画面上のウィジェットを長押しします。ウィジェットを画面上の好きな場所にドラッグします。

アプリドロワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納して、すっきりとしたホーム画面にすることができます。ホーム画面でアプリドロワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

設定 を開き、**ホーム画面と壁紙** > **ホーム画面のスタイル** に移動し、**ドロワー** を選択します。標準のホーム画面に戻すには、**標準** を選択します。

- i** **アプリドロワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドロワーを有効にした後、ホーム画面で をタップして、アプリリストを開きます。アプリリストで、追加するアプリのアイコンを長押しし、端末が振動したら、そのアイコンをホーム画面上の目的の位置にドラッグします。

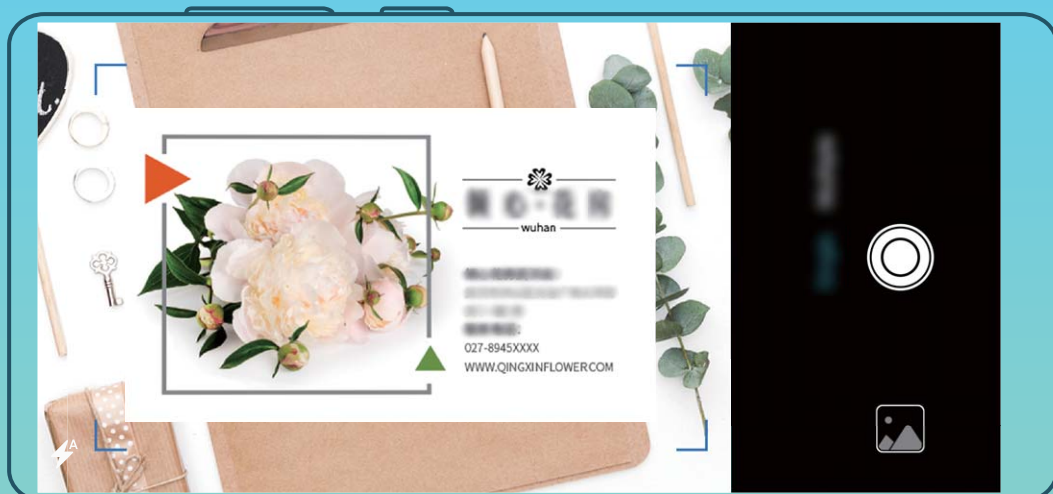
連絡先

名刺の管理

名刺を読み取って連絡先に追加

 **連絡先** を開き、**名刺 > 名刺読み取り** に移動して、以下の操作を実行できます。

- **1枚の名刺の読み取り**: 名刺を平らな場所に置き、名刺のテキストがファインダーではっきりと読み取れるようにカメラのフォーカスを合わせてから、 をタップします。



- **複数の名刺の読み取り**: **複数** モードに切り替え、画面上の指示に従って複数の名刺を撮影します。名刺の情報は自動的に連絡先情報に変換され、端末の **名刺** に保存されます。

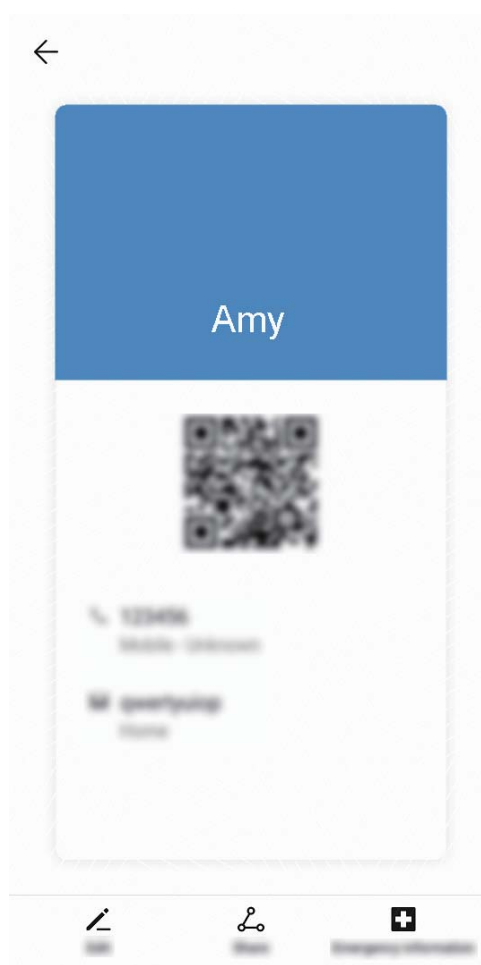
 保存した名刺を表示するには、 **連絡先** を開いて、読み取った連絡先を選択し、**詳細 > 名刺を表示** に移動します。

電子名刺を使用した連絡先の共有

自分の名刺の共有:  **連絡先** を開き、**マイカード** をタップして自分のプロフィール写真を設定し、氏名、勤務先住所、電話番号などを入力します。次に  をタップすると、端末がQRコードの名刺を自動

作成します。これにより、QRコードを使用して自分の名刺を直接共有することが可能になります。また、

🔗 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有することもできます。



連絡先の共有: 👤 **連絡先** を開いて、共有したい連絡先を選択してから右上隅のQRコードをタップし、QRコードを使用している連絡先を共有します。**共有** をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有処理を完了できます。

📌 相手の端末がQRコード分析に対応している場合、直接QRコードを撮影したり、読み取ったりして連絡先を追加できます。

連絡先の管理

連絡先の管理

連絡先アプリでは、さまざまな機能を使って連絡先を管理できます。連絡先リストをシンプルにしたり、端末またはSIMカードにある連絡先のみを表示したり、よく使う連絡先を見つけやすくすることが可能です。

重複した連絡先の統合: 連絡先リストに重複がある場合、**重複した連絡先の統合** 機能を使って統合できます。連絡先リスト画面で ⋮ > **設定** > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動し、統合する連絡先を選択してから **統合** をタップします。

アカウント別の連絡先を表示する: 端末またはSIMカードにある連絡先だけを表示するには、連絡先リスト画面で  > **設定** > **表示設定** に移動し、表示するアカウントを選択します。また、以下の操作を行うことができます。

- **簡易レイアウトの有効化:** 連絡先リストの余分な情報を非表示にするには、連絡先リスト画面で  > **設定** > **表示設定** に移動し、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認:** 連絡先のストレージ容量を確認するには、連絡先リスト画面で  > **設定** > **表示設定** に移動します。**アカウント** フィールドに、SIMカードで利用可能なストレージ容量と合計ストレージ容量が表示されます。

連絡先をお気に入り追加する: いつも特定の連絡先を探すことにうんざりすることはないでしょうか。よく使う連絡先をお気に入り追加して、すばやく簡単にアクセスできます。連絡先リスト画面でお気に入りに追加するエントリをタップし、**お気に入り** をタップして、お気に入り画面にそのエントリを追加します。

連絡先グループの管理

数名の同僚にまとめてメッセージを送信したり、連絡先のグループを作ったりする必要がありますか？スマートグループを使用すると、会社、都市、最近連絡した時間に基づいて連絡先が自動的にグループ化されるため、Eメールやメッセージを一斉送信できるようになります。

連絡先グループの作成: グループリストで  をタップして、グループ名（「家族」や「友人」など）を入力してから **OK** をタップします。画面の指示に従って連絡先を追加し、 をタップします。

スマートグループ連絡先にメッセージを送信する: グループリストの **スマートグループ** セクションでグループを開き、 をタップしてメッセージを送信するか、 をタップしてEメールを送信します。

グループの編集: グループリストで、編集するグループを選択してから  をタップして連絡先を追加するか、 をタップして **メンバーを削除**、**グループ着信音**、**グループの削除**、または **名前を変更** を選択します。

グループの削除: グループリストで、削除するグループを長押ししてから **削除** をタップします。

ブラックリストまたはホワイトリストに連絡先を追加する

連絡先をブラックリストに追加して、迷惑電話がかかってこないようにできます。連絡先をホワイトリストに追加すると、このリストに含まれる番号からの電話のみ着信できます。

連絡先をブラックリストに追加するには、 **連絡先** を開き、連絡先を短押しし、 > **ブラックリストに追加** に移動します。この連絡先からの着信とメッセージをすべてブロックします。

 **端末管理** で連絡先をブラックリストに追加することもできます。**ブロック** >  > **ブラックリスト** に移動し、 をタップし、ブロックする連絡先を追加します。

連絡先をホワイトリストに追加するには、**端末管理** を開き、**ブロック** >  > **ホワイトリスト** に移動して、 をタップし、目的の連絡先を追加します。

 すべての着信をブロックを有効にすると、ホワイトリストからの着信も含め、すべての着信がブロックされます。

ブラックリストの連絡先を表示する:  端末管理 を開いて、ブロック >  > ブラックリスト に移動します。

ホワイトリストの連絡先を表示する:  端末管理 を開いて、ブロック >  > ホワイトリスト に移動します。

ブラックリストから連絡先を削除する:  連絡先 を開き、ブラックリストから削除する連絡先を長押ししてから  > ブラックリストから削除 に移動します。

 端末管理 で連絡先をブラックリストから削除することもできます。ブロック >  > ブラックリスト に移動し、目的の連絡先を長押しして削除します。

ホワイトリストから連絡先を削除する: 端末管理 を開き、ブロック >  > ホワイトリスト に移動し、目的の連絡先を長押しして削除します。

通話／メッセージ履歴の消去

プライバシーを保護するために、消去機能を使用して連絡先ごとに通話／メッセージ履歴を消去できます。

 連絡先 を開き、連絡先を選択して  > 履歴を消去 > 消去 に移動します。該当する連絡先のすべての通話／メッセージ履歴が消去されます。

サードパーティ製アプリの連絡先を統合

連絡先情報と SNS アカウントを関連付ける

LinkedInなどのサードパーティ製SNSアプリを使用して連絡先の詳細情報を調べます。

LinkedInアカウントとの関連付け:  連絡先 を開いて、 > 設定 > LinkedInアカウントを関連付け に移動し、画面の指示に従ってLinkedInアカウントにログインします。ログインすると、ご利用の端末の連絡先情報が更新されます。LinkedInの連絡先情報をすべて同期させるには、連絡先 のLinkedIn設定画面から LinkedIn連絡先の同期 > すべてのLinkedInの連絡先 に移動して、同期 または LinkedInの自動更新 を選択します。

LinkedInの連絡先情報を表示する: LinkedInの連絡先を1つ開いて、オンラインでLinkedInのプロフィールを表示します をタップします。

LinkedInの連絡先の関連付けを解除する:  連絡先 を開き、 > 設定 > LinkedIn に移動し、関連付け解除 を選択します。

送信者の職歴の表示

新しい職場で仕事を始めたときには、新しい同僚の仕事について早く知る必要があります。LinkedInなどのSNSアカウントを自分のメールアカウントに関連付けることができます。その後、メール送信者の仕事情報がメールの詳細画面に表示されるようになります。

 **メール** 受信トレイから、受信したメールを1つ開きます。メールの詳細に移動し、送信者のプロフィール画像をタップして **LinkedInのプロフィールを表示** を選択します。

電話

基本的な通話機能

発信

端末の入力画面で、電話番号の一部、連絡先の名前の最初の文字、または連絡先のイニシャルを入力して、連絡先を見つけます。

 **電話** を開きます。入力画面で、電話番号、連絡先の名前の最初の文字、または連絡先のイニシャル(John Lucasの場合は「j」)を入力するなどを入力して、連絡先を見つけます。一覧から、電話をかける連絡先をタップします。デュアルSIM端末を使用している場合は、 または  をタップして発信します。電話を切るには、 をタップします。

 入力画面に入ると、最近コピーした電話番号をペーストするよう求められます。

電源ボタンを押して通話を終了する：誤ってある番号をかけ、通話画面が非表示になっている場合でも、すぐに通話を終了できます。電源ボタンを押すと、**電源ボタンで通話を終了** 機能により通話が終了します。電話 画面から、 > **設定** > **その他** に移動し、**電源ボタンで通話を終了** を有効にします。

緊急通報

緊急時には、画面がロックされている場合でも、端末の電源が入っていて圏内にいれば、緊急通報を行うことができます。

 緊急通報が利用できるかどうかは、現地の法規制やインターネットサービスプロバイダによって異なります。ネットワークまたは環境面の要因が緊急通話のパフォーマンスに影響を与える場合があります。緊急時の重要な通信は、端末だけに頼らないようにしてください。

 **電話** を開くか、ロック画面で **緊急通報** をタップして、自分の所在地の緊急番号を入力し、 をタップします。位置情報サービスが有効な状態で、電波が強くインターネット接続があれば、参照のため端末に自分の位置を表示できます。

通話保留を有効にして重要な着信を受ける

通話中でも他の電話を受けられるようにしたいと思いませんか？通話保留機能を使用すると、新しい着信に応答した後、2つの通話を切り替えることができます。

 **電話** を開いて  > **設定** > **その他** に移動し、**割込通話** を有効にします。通話中に別の着信があったら、 をタップして応答し、最初の通話を保留中にします。通話を切り替えるには、 をタップするか、通話リストで保留中の通話をタップします。

着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

 一部の通信事業者は、この機能に対応していない場合があります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **着信転送** に移動します。端末をデュアルSIMでご利用の場合、**SIM 1** または **SIM 2** セクションで **着信転送** をタップし、転送方法を選択します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

通話履歴の削除

不要になった通話履歴は削除できます。

 **電話** を開き、 をタップしてダイヤルパッドを非表示にします。次のいずれかの操作を行うことができます。

- **1つの記録の削除**: エントリを長押ししてから、**履歴の削除** をタップします。
- **複数の記録の削除**:  > **複数の連絡先を削除** に移動し、削除するエントリまたは **すべて選択** を選択し、 をタップします。

国際ローミングを有効にして国際通話を行う

出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

- 1 ご利用の通信事業者に連絡して、国際通話またはローミングサービスを有効にします。
- 2  **電話** または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

VoLTE

VoLTE: 通話とデータ通信を同時に実行

VoLTE (Voice over LTE) では、通話とデータ通信サービスの両方を同じ4Gネットワーク上で実現できるため、通話中でもインターネットを使用できます。また、VoLTEにより通話確立までの時間が短縮し、より高品質の音声およびビデオ通話を利用できます。

ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4G、VoLTEに対応しているため、SIMを切り替える必要はありません。

- **デュアル4G**: ご利用の端末のSIMカードスロットは両方とも4Gに対応しています。
- **デュアルVoLTE**: ご利用の端末のSIMカードスロットは両方ともVoLTEに対応しているため、HD通話（高品質通話）をしながらインターネットを使用できます。

VoLTE を有効にして HD 通話を楽しむ

-  一部の通信事業者は、この機能に対応していない場合があります。

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **モバイルネットワーク** に移動します。SIM1またはSIM2（ご利用の通信事業者のネットワークで対応している場合）の設定エリアで、以下の操作を実行できます。

- **4Gの有効化**: 4G を有効にします。4G スイッチは、通信事業者の設定によりご利用の端末で使えない場合があります。これは、4Gネットワークがデフォルトで有効になっていることを示します。
- **VoLTE通話の有効化**: VoLTE通話 を有効にします。

- Wi-Fi通話の有効化: Wi-Fi通話 を有効にします。

VoWi-Fi を使用した新しい通話体験

モバイル端末ネットワークの電波が届かない場所であっても、Wi-Fiネットワークがあれば、どこでもVoWi-Fi を使用して音声通話やビデオ通話を行うことができます。

 この機能を利用するには、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。ご利用の通信事業者に連絡して、料金などの詳しい情報を入手してください。

 **電話** を開いて  > **設定** > **Wi-Fi通話** に移動し、**Wi-Fi通話** を有効にします。**モード** をタップし、画面の指示に従って優先するネットワークを設定します。

UQ モバイルポータルアプリ

はじめに

UQ mobileのデータ通信の利用状況の表示、データチャージおよび各サービスの利用等を行うことができます。

i ご利用には、my UQ mobile IDとパスワードが必要です。初期値は次のとおりです。

my UQ mobile ID: UQ mobileお申し込み受け付け時に発行された「受付番号」。

パスワード: お申し込み手続き時に入力した「暗証番号」。

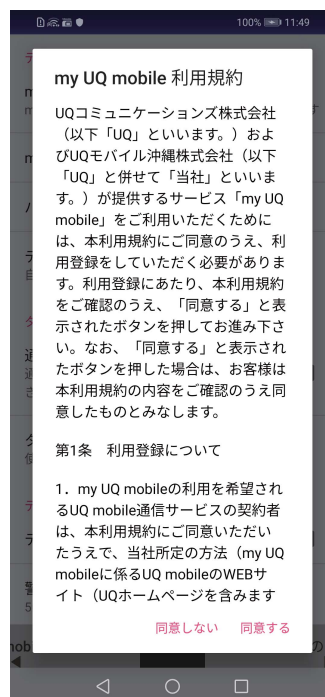
起動

ホーム画面をスワイプし、「UQ モバイルポータルアプリ」をタップする。

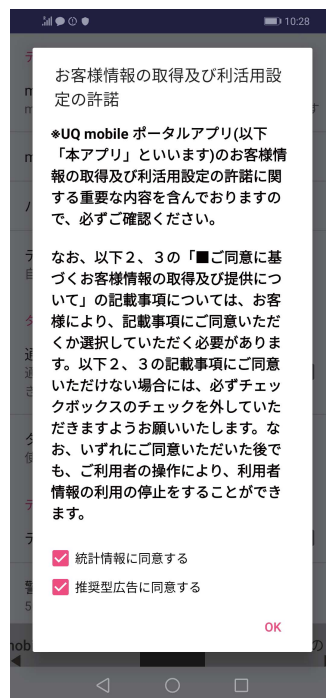
初期設定

i 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

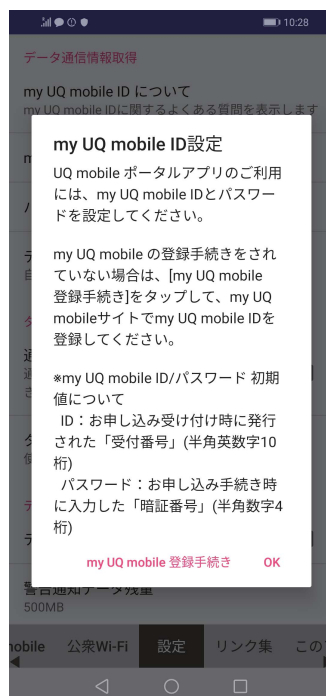
1 「同意する」をタップします。



2 「OK」をタップします。



3 「OK」をタップします。



4 my UQ mobile ID とパスワードを入力する。

The screenshot shows the login interface of the UQ Mobile Portal App. At the top, there's a status bar with signal, Wi-Fi, and battery icons, and the time 10:28. Below the status bar, a red header reads 'データ通信情報取得'. The main content area has a light beige background and contains the following sections:

- my UQ mobile ID について**
my UQ mobile IDに関するよくある質問を表示します
- my UQ mobile ID**
- パスワード**
- データ残量自動取得間隔**
自動取得しない
- ターボ設定変更機能**
通知領域を使用
通知領域からターボ設定を変更することができます ☐
- タイマーターボ設定変更(高速→節約)**
使用しない
- データ残量通知**
データ残量通知する ☐
- 警告通知データ残量**
500MB

At the bottom, there's a navigation bar with five tabs: 'mobile', '公衆Wi-Fi', '設定' (which is highlighted in black), 'リンク集', and 'このアプリ'. Below the navigation bar is an Android-style back, home, and recent apps button row.

あんしんフィルター for UQ mobile

はじめに

お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるWebページへのアクセスやアプリのご利用を制限するUQ mobileのフィルタリングアプリです。

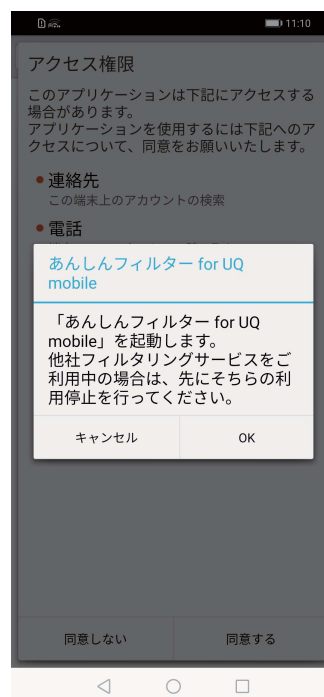
起動

ホーム画面をスワイプし、「あんしんフィルター for UQ mobile」をタップする。

初期設定

i 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

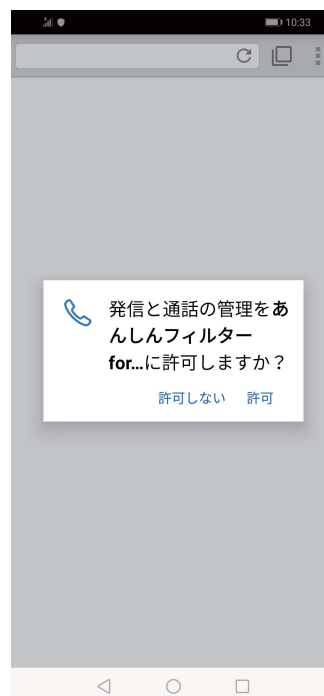
1 「OK」をタップします。



2 「同意する」をタップします。



3 「許可」をタップします。



4 利用開始の手続きを開始します。

あんしんフィルター

利用開始のお手続きを開始します

携帯電話番号とパスワードを入力してください。

携帯電話番号：
11桁の数字

パスワード：
8桁の英数字

ログイン

au
powered by
NetSTAR

カメラ

基本機能

カメラの基本機能を使用する

カメラの基本機能を学習することで、より美しい写真を撮影できます。

写真撮影:  **カメラ** を開きます。ビューファインダーで、 をタップするか、音量ダウンボタンを押して写真を撮影します。

カメラモードを選択する:  **カメラ** を開き、画面下部でプリインストール済みのカメラモードを選択します。

焦点距離の調整: ビューファインダーで、2本の指を広げるとズームイン、狭めるとズームアウトします。端末と被写体の間の距離がカメラの光学ズームより長くなる場合、写真の画質が低下します。ズームイン、またはズームアウトする場合、ズームバーが画面の横に表示されます。ズームバーを使用してズームレベルを調整することもできます。

露出の調整: 周囲の明るさに応じてカメラの露出が自動的に調整されます。露出が大きくなるほど、画像は明るくなります。露出を手動で調整するには、ビューファインダー画面をタップし、 アイコンを上下にドラッグします。

フラッシュのオン/オフ: 暗い場所で写真を撮影する場合、フラッシュをオンにして、周囲を明るくします。ビューファインダーで  をタップし、次のいずれかのフラッシュモードを選択します。

-  **オート:** 周囲の明るさに応じてフラッシュのオン/オフが自動で決定されます。
-  **OFF:** フラッシュは無効です。
-  **ON:** フラッシュは有効です。
-  **常時ON:** フラッシュは常時オンです。

AI撮影の有効化または無効化: ビューファインダーで  をタップし、**AI撮影** を有効または無効にします。

カメラでのビデオ録画

カメラでビデオ録画すると、思い出をより鮮やかに残すことができます。

ビデオの録画:  **カメラ** > **ビデオ** に移動し、 をタップしてビデオを録画します。

録画中の写真撮影: 録画中に写真を撮影するには、 をタップします。

ズームイン/ズームアウト: 2本の指でビューファインダー画面を長押しし、指を広げるとズームイン、狭めるとズームアウトします。ズーム時は、ズームバーが表示されます。これをスライドしてカメラをズームイン/アウトできます。

撮影中のフラッシュの常時オン: 薄暗い場所でビデオを録画する場合、✳️ をタップし、💡 を選択してフラッシュを常時オンにします。

カメラ設定の調整

📷 カメラ を開き、⚙️ をタップして **設定** 画面にアクセスします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **カメラの解像度を調整する:** **解像度** をタップし、指定の解像度を選択します。
 ⓘ この機能は一部のモードでは利用できません。
- **位置情報タグの有効化:** **GPSタグ** を有効にして、写真に自分の位置情報をタグ付けします。
- **笑顔の撮影:** **スマイルキャプチャ** を有効にします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。

補助グリッドを使用して写真を撮影する

写真が傾いたり、中心がずれたりしないようにします。カメラの補助グリッド機能を使用すると、最適な構図で写真を撮影できます。

📷 カメラ > ⚙️ に移動して、**設定** 画面を開きます。**カメラグリッド** をタップしてグリッドタイプを選択します。

三分割法: **グリッド** または **ファイグリッド** を選択します。4本のグリッド線が交差する点が写真の焦点です。いずれかの焦点に被写体を合わせると、魅力的な構図になります。



黄金スパイラル: フィボナッチスパイラル(左) または フィボナッチスパイラル(右) 補助線のいずれかを使用します。らせんの中心が写真の焦点になります。被写体をこの焦点に配置すると、写真が自然な流れに沿っているように見えます。



AI 撮影、インテリジェントなシーン識別

AI撮影 は自動的に現在の撮影シーンを識別し、写真の色や明るさをインテリジェントに調整するため、何度もカメラを調整しなくても完璧な写真を撮影できます。

AI撮影 は端末内蔵の機能です。この機能では、現在の撮影シーンをインテリジェントに識別し、写真の色や明るさを自動的に調整するため、より美しく補正されます。

AI撮影 には以下の機能があります。

- **インテリジェントな撮影シーン識別と写真効果の最適化:** **AI撮影** はステージ、ビーチ、青空、草木、テキストなどの複数のシーンをサポートしています。スマート識別後は、**AI撮影** によってカメラの色と明るさが自動調整され、ポートレートモード、草木モード、テキストモードなどの最適な推奨モードが提示されるため、写真の効果が高まります。
- **事前に設定された各種カメラ設定を自動的に有効化:** カメラをオンにして標準カメラモードに切り替えると、撮影シーンに応じて即時に設定されるカメラ設定により **AI撮影** が自動的に有効化されるため、撮影のたびにマニュアル調整を繰り返す必要がありません。

- **AI撮影** は、アウトカメラを使用して撮影する場合にのみ使用できます。
 - ポートレートモード、ワイドアパーチャモード、アニメーション写真モードに切り替えると、**AI撮影** は自動的に無効になります。

ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

セルフイーやグループ撮影がさらに美しくなります。ポートレートモードのオプションを使用することで、美しく、思い出に残る写真を撮影することができます。

● **カメラ** > **ポートレート** に移動し、いずれかの効果を選択してから  タップし、ポートレートを撮影します。

- **ぼかし効果**:ビューファインダーの  アイコンをタップして、ぼかし効果を選択します。
 - 比較的明るさが十分確保された背景にある光源(ネオン光または街灯など)を使用すると、より優れたぼかし効果が生まれます。
- **舞台照明**:ビューファインダーの  アイコンをタップして、舞台照明効果を選択します。
 - 遠くから撮影すると、舞台照明効果が減少します。

AR レンズ を使用して面白い写真を撮影する

ARレンズ を使用すると、写真を面白く、目立たせることができます。

● **カメラ** > **ARレンズ** に移動します。

以下の複数の効果から選んで写真を目立たせることができます。

- **3D Qmoji**: 3D Qmoji をタップしてアニメのQmojiを選択します。すると、Qmojiがユーザーの顔の表情や動きをまねてそれに合わせて再現します。  をタップして録画するか、または  をタップしてから、  を長押しして自分だけのQmojiをカスタマイズします。
- **写真またはビデオにメイクアップ効果を追加する**: **エフェクト** をタップして、目的のダイナミックスタンプを選択します。次に、  をタップして写真を撮影するか、  をタップして、スタンプでビデオを撮影します。一部のアニメスタンプには効果音が付いており、自動的にビデオに追加されます。

ワイドアパーチャモードを使用して被写体を強調する

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。

ワイドアパーチャ写真を撮影する: ● **カメラ** > **その他** > **アパーチャ** に移動します。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから  をタップして撮影します。

- **i** 仕上りをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
-  をタップし、スライダーを左右にスワイプして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のぼけ味が強くなります。

パノラマ

パノラマモードを使用してパノラマセルフイーを撮影する

セルフイーに友人や風景をもっと入れたいですか？パノラマを使用すると、広い画角でセルフイーを撮影できます。

- 1  **カメラ** を開き、 をタップしてインカメラに切り替えます。
- 2 **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして1枚目の写真を撮影します。
- 4 画面の指示に従って端末を水平方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。もう1枚の写真が自動的に撮影されます。
- 5 画面の指示に従って端末を逆方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。最後の写真が自動的に撮影されます。
- 6 操作が完了すると、3枚の写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマセルフイーになります。

パノラマモードを使用したパノラマ写真の撮影

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

- **i** パノラマ写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

- 1  **カメラ** > **その他** > **パノラマ** に移動します。
- 2 画面下部の  をタップし、撮影方向を設定します。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。
- 4 終了したら、 をタップします。写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



3D パノラマを使用した 360 度撮影

3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

- **被写体の撮影:** **カメラ** > **その他** > **3Dパノラマ** に移動します。 を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。

3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。

プロモード

プロモードで風景写真を撮る

風景写真をもっと魅力的に、生き生きとしたものにしたいと思いませんか。プロモードを使用すると、個性的な風景写真を撮影できます。

- **カメラ** > **その他** > **プロ** に移動してプロモードに切り替えます。

被写体に合わせて測光モードを選択する: をタップし、測光モードを選択します。

: マトリックス

: 中央

: スポット

測光モード	適用シーン
マトリックス	広大な風景や海
中央	写真の中央にあり、背景より目立つ被写体
スポット	際立たせたい被写体が花や木など、比較的小さい場合

撮影シーンに応じた明るさの調整:

● **ISOの調整**: ISO をタップし、ISOスライダーをドラッグして値を調整します。

- **i** 過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。ISOの推奨値は、昼間は100 ～ 200、夜景では400前後です。

● **シャッター速度の調整**: S (シャッタースピード) をタップし、シャッタースピードスライダーを目的のスピードにドラッグします。

- **i** 動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80～1/125をお勧めします。動きのあるシーン(波など)では、三脚に端末を取り付け、遅いシャッター速度を使用することをお勧めします。動いている被写体を撮影するときは三脚を使用するとよい結果が得られます。

● **露出補正の調整**: EV をタップし、EVスライダーを目的の値にドラッグします。

オートホワイトバランスの調整: AWB をタップし、AWBスライダーを目的の値にドラッグします。

- **i** 直射日光が当たる場所で撮影する場合は、☀ を選択します。光が弱い場所では、☁ を選択します。
- 色温度を変更するには、🌡 をタップします。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒色トーンや静寂、あるいは未来的な雰囲気を出すには、K値を小さく設定します。

撮影する被写体に基づいたAFの調整: AF をタップして、AFスライダーをドラッグすることで効果を調整できます。

フォーカスモード	適用シーン
AF-Sモード	動きのないシーン(山など)
AF-Cモード	動きのあるシーン(流れる水や波など)
MFモード	際立たせる被写体(花の接写など)

端末を水平に保って撮影する: 📐 をタップし、水準器を有効にします。この機能を有効にすると、ビューファインダーに水平の補助線が2本表示されます。この点線と実線が重なれば、カメラは水平に配置されています。

- **i** プロモードでは、設定を変更すると、他の設定も一部変更されることがあります。
- 上記の推奨設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

プロモードを使用してポートレートを撮影する

プロのようなポートレートを撮りたいと思うことはありませんか。プロモードを使用すると、カメラの設定を調整して、プロ並のポートレートを撮影できます。

📷 **カメラ > その他 > プロ** に移動してプロモードを有効にします。

測光モードを選択する: ポートレートを撮影する場合は、 または  をお勧めします。被写体(顔など)がビューファインダーの中央に位置するように調整します。次に、 をタップして好みの測光モードを選択します。

周囲の明るさに応じた明るさの調整

- **ISOの調整**:ポートレート撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを下げることをお勧めします。また、実際の照明状況に合わせたISOの調整も必要になります。この機能を利用するには、ISOをタップし、左右にスライドさせて値を調整します。

適用シーン	推奨ISO値
屋外	100 ～ 200
屋内	400前後
夜景	400 ～ 800

- **シャッター速度の調整**:周囲の明るさが不十分な場合はシャッター速度を遅くし、明るさが強い場合は速くします。静止したポートレートの推奨シャッター速度は、1/80 ～ 1/125です。動いている被写体を撮影するには、1/125以上のシャッター速度を選択します。**S** (シャッター速度)をタップし、好みの速度が中央に来るまでスライドさせます。
- **露出補正の調整**:被写体や背景が薄暗い場合は露出補正值を上げ、明るさが強い場合は露出補正值を下げます。**EV** をタップし、好みの値が中央に来るまでスライドさせます。

オートホワイトバランスの調整:照明状況に応じてホワイトバランスモードを選択します。明るい日差しの下で撮影する場合は ☀ を、薄暗い日は ☁ を選択してください。**AWB** をタップし、好みの値が中央に来るまでスライドさせます。

フォーカスの調節:ポートレート撮影で人物を目立たせるには、マニュアルフォーカス(MF)の使用をお勧めします。クローズアップ写真を撮る場合は、ビューファインダーでクローズアップの対象をタップして、適宜ピントを調整します。

- **プロモードのパラメータ**には互いに影響するものがあるので、一方のパラメータの調整によって他方に意図しない変化が起きることがあります。意図したとおりの写真を撮るために、設定の際はこの点に注意してください。
- 上記の推奨設定は、あくまでも目安です。ベストショットにするためには、実際のシーンに合わせて調整する必要があります。

ライトペインティングモード

ライトペインティング:光の軌跡を撮影する

ライトペインティングモードでは、遅いシャッター速度に自動的に設定し、露出時間を長くして光の軌跡を撮影します。このモードでは、幻想的な雰囲気の良い写真を撮影できます。

📷 **カメラ > その他 > ライトペインティング** を開いてライトペインティングモードに切り替えます。

ライトペインティングモードには、さまざまな被写体と光の状態に対応した4種類のクリエイティブな撮影モードがあります。

- **テールライトトレイル**:夜間に車のライトの軌跡を撮影します。
- **ライトグラフィティ**:暗い場所で移動する光源の軌跡を撮影します。

- **シルキーウォーター**: 流れる水の様子をシルクのように滑らかに撮影します。
- **スタートラック**: 夜空の星の軌跡をとらえた美しい写真を撮影します。



テールライトレイルを使用して都会の夜景を撮影する

テールライトレイルでは、夜間の車のテールライトを芸術的に撮影できます。

- **i** ある程度距離を置いた位置で、被写体のやや上から撮影するとよいでしょう。画像が露出過多にならないよう、車のヘッドライトがカメラに直接向かないようにしてください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

カメラ > その他 > ライトペインティング > テールライトレイル に移動します。端末をしっかりと持ち、**📷** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、**🔴** をタップします。



ライトグラフィティを使用してライトパターンを作成する

ライトグラフィティでは、カメラの前で光源を動かして文字や図形を描くことができます。

- 他光が入らない場所で、被写体の影が見えないことを確認してください。ペンライトやサイリウムなど、適切な色の明るい光源を選択してください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

カメラ > その他 > ライトペインティング > ライトグラフィティ に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



シルキーウォーターを使用して川や滝を撮影する

シルキーウォーター機能を使用すると、川や滝をシルクのように滑らかに撮影できます。

- この機能は、水量の多い小川や滝の撮影に最も適しています。
 - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- カメラ > その他 > ライトペインティング > シルキーウォーター に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



スタートラックを使用して星をキレイに撮影する

スタートラックを使用して、夜空の星の動きを撮影できます。

- 最適な撮影結果を得るには、空に遮るものがなく、光害のない場所で、夜空が澄み切っている時を選びます。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

カメラ > その他 > ライトペインティング > スタートラック に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがビューファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



その他の撮影モード

コマ抜きを使用して短いビデオを作成する

コマ抜きモードを使用して画像を長時間撮影し、これを要約して短いビデオにします。咲こうとしている花、流れる雲、夜空の星の軌跡まで、自然をまるごと撮影し、視聴できます。

- i ● コマ抜きビデオを連続して長時間録画すると、電池を消耗し、ストレージ容量を使い果たす場合があります。
- 録画中は端末に三脚を取り付け、安定させます。
- 開始する前に、被写体の明るさが十分であること、カメラの焦点が合っていることを確認します。該当する背景の被写体ができるだけ収まるよう、端末を注意して置きます。

- 1  **カメラ** > **その他** > **コマ抜き** に移動し、 をタップしてコマ抜きビデオの録画を開始します。
 - 2  をタップすると録画が終了します。
 - 3 **ギャラリー** に移動して、コマ抜きビデオを再生します。
- i 最適な仕上がりを得るために、録画速度と再生速度はシステムで自動的に調整されます。

カスタム撮影モード

事前に設定されている機能以外でカメラを使ってみたいと思うことがあります。必要に応じて、撮影モードをダウンロードしたり削除したりすることができます。

撮影モードをダウンロードする:  カメラを開き**その他ダウンロード**に移動します。ダウンロードする撮影モードを選択して、**追加**をタップします。

撮影モードを更新する:撮影モードを更新するには、**その他**画面に移動します。利用可能な更新がある場合、撮影モードの横に赤い点が表示されます。画面の指示に従って更新できます。

撮影モードを削除する:**その他** >  に移動し、 をタップして必要のない撮影モードを削除します。

 カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。

アニメーション写真を撮影する

アニメーション写真でよりダイナミックで楽しい写真を撮影し、人生の素晴らしい瞬間をいつまでも残すことができます。

アニメーション写真では、シャッターボタン押下前後の約1秒間のシーンをアニメーションとして撮影できます。ギャラリーで写真を参照する際には、静止画として表示したり、アニメーション写真のダイナミックな効果とサウンドを楽しんだりすることもできます。

アニメーション写真を撮影する:  カメラを開き、画面上部の  をタップした後、 をタップしてアニメーション写真を撮影します。

アニメーション写真を表示する:アニメーション写真は、JPG形式で **ギャラリー** に保存されます。 **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動し、 アイコンで写真をタップし、写真の上部の  をタップして、アニメーション効果を表示します。再生が終了すると、アニメーション写真は自動的に停止します。また、再生を停止するには、画面をタップします。

アニメーション写真を共有する:  **ギャラリー** > **アルバム** > **カメラ** に移動して、共有するアニメーション写真をタップし、 をタップして共有方法を選択します。

 アニメーション写真は、Wi-Fi、Bluetooth、Huawei Shareなどの方法で直接共有できます。アニメーション写真の効果を再生するには、アニメーション写真の撮影に対応したHuawei端末を受信端末として使用する必要があります。アニメーション写真をサードパーティ製アプリまたは互換性のない端末と共有する場合、アニメーション写真は静止画像として表示されます。

ギャラリー

ハイライトアルバムのカスタマイズ

ハイライトは、時間と場所の情報に基づいてアルバムを作成し、短いビデオクリップを生成するので、瞬時に楽しい時間を思い出すことができます。お気に入りの写真やビデオを選択してからビデオテンプレートとBGMを選択すると、カスタマイズされたハイライトアルバムを作成できます。

-  ハイライトの使用を開始するには、**カメラ**を開き、 をタップして、**GPSタグ**を有効にします。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認してください。
- ハイライトアルバムは、端末の充電中、画面が消灯されていて、電池残量が50%以上あるときに自動的に作成されます。この処理には時間がかかる場合があります。ギャラリーの写真またはビデオの数が7個未満の場合、ハイライトアルバムは作成されません。

 **ギャラリー**を開きます。**ハイライト**タブで、表示または編集するハイライトアルバムをタップします。これで、以下のいずれかを実行できます。

- **ハイライトの再生または編集**:ビデオを再生するには、 をタップします。画面下部のオプションバーからビデオテンプレートまたはBGMを編集します。
- **ハイライトの写真やビデオの追加または削除**:写真やビデオを追加するには、 をタップし、写真またはビデオを選択してから  をタップします。削除するには、写真またはビデオを長押ししてから、 をタップし、**移動**をタップします。
-  ハイライトに追加できるのはMP4形式のビデオのみです。
- **ハイライトからの写真やビデオの共有**:共有する写真やビデオを長押しし、 をタップして共有方法を選択します。その後、手順に従って操作を完了します。
- **アルバムの名前変更**:  > **名前を変更**に移動して新しい名前を入力します。
- **アルバムの削除**:  > **削除**に移動し、**削除**をタップします。

写真の管理

写真認識を使用して写真をスマートに整理する

写真の整理に時間がかかったり、探している写真がなかなか見つからないことがあります。そんなときは、写真認識機能を使用すると、ギャラリー内でポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に写真が自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

写真をスマートに整理する:ギャラリーでは、撮影した写真がポートレート、場所、風景、食べ物などのカテゴリー別に自動的に整理されるため、探しているものを素早く見つけることができます。

まとめた写真をカスタマイズする:ギャラリーに様々なポートレートアルバムを自動的にまとめた後、ポートレートのアルバムを長押しし、**名前を変更**をタップするとアルバム名を手動で変更し、関係(「赤ちゃん

ん」、「お母さん」など)を設定できます。設定が完了した後は、様々な写真アルバムを名前で表示できます。また、ギャラリー検索バーで名前と関係を検索することで、写真を探すこともできます。

グループ写真をアルバムにまとめる: ギャラリーでカテゴリーが識別されると、作成したアルバムに名前を設定できます。ギャラリーでは、10個以上になったグループ写真をひとまとめにして、グループ写真アルバムを作成します。

ビデオの編集

ビデオをトリミングする:  ギャラリー を開き、編集するビデオを選択して  をタップすると、ビデオ編集画面になります。トリミング領域のスライダーをドラッグして、残したい部分を選択します。✓ をタップすると、ビデオのトリミングが完了します。

ビデオの解像度を調整する: スライダーをドラッグして残したい部分を選択して、 をタップするとトリミング後のビデオがプレビュー表示されます。さらに、編集画面上のビデオ解像度オプションをタップして、ビデオ解像度を調整することもできます。

 解像度が高いほどビデオが鮮明になりますが、必要なストレージ容量も増えます。必要に応じて選択してください。

スローモーションビデオの再生の調整

 ギャラリー を開き、録画済みのスローモーションビデオを選択し、 をタップして再生します。画面をタップし、編集領域のスライダーをドラッグして、スローモーションで再生する部分を選択します。

写真の編集

ギャラリーで、写真のトリミング、回転、さまざまな効果(落書き、カスタムウォーターマーク、フィルターなど)の適用を行います。

 ギャラリー を開き、編集する写真を選択し、 をタップします。次の方法で写真を編集します。

- **回転:**  をタップし、アングルホイールを目的の方向にドラッグします。また、**回転** をタップして写真を90° 回転させたり、**鏡** をタップして写真を反転させることもできます。
- **トリミング:**  をタップし、グリッドまたはその端をドラッグして範囲選択します。また、固定率を選択し、グリッドの端をドラッグして写真をトリミングすることもできます。
- **フィルター効果の追加:**  をタップし、フィルターを追加します。
- **カラースプラッシュ:**  をタップし、強調する色を選択します。写真の他の部分は白黒になります。
- **ぼかし:**  をタップして、ぼかしモードを選択し、スライダーをドラッグすると、ぼかしの程度を調整できます。
- **写真効果の調整:**  をタップして、明るさ、コントラスト、彩度、その他の仕上がりを調整できます。
- **ポートレートへのビューティー効果の追加:** ポートレート用に **ビューティー** が提供されています。 をタップして、**スムージング**、**コンシーラー**、**細面**、**目元を洗練** のような機能を適用して、ポートレートをより魅力的に仕上げることができます。

- **モザイク化:**  をタップして、写真の一部をモザイク表示するためのモザイクのスタイルとサイズを選択できます。
- **落書き:**  をタップして、ブラシと色を選択し、落書きを追加できます。
- **ウォーターマークの追加:**  をタップして、ウォーターマーク(時刻、場所、天気、または **ムード** など)を選択できます。
- **テキスト要素の追加:**  をタップして、要素のスタイルとフォント形式を選択できます。

写真やビデオの閲覧と共有

すべての写真とビデオはギャラリーに保存され、時間、場所、またはアルバムごとに表示できます。

写真の全画面表示:  **ギャラリー** を開いて写真をタップすると、写真が全画面モードで表示されます。画面をもう一度タップすると、メニューが非表示になります。全画面モードでは、次の操作を実行できます。

- **写真やビデオに関する基本情報の表示:** 写真またはビデオを上にもスワイプすると、その写真またはビデオの基本情報が表示されます。
- **ズームイン/アウト:** ズームインまたはズームアウトするには、画面を2本の指でピンチアウトまたはピンチインします。写真の解像度が画面の解像度より高い場合は、2本の指を使ってズームインできます。画面から指を離すと、写真は元のサイズの2倍までしか拡大されません。
- **撮影設定の表示:**  をタップして下にスクロールすると、ポップアップボックスにISO(感度)、EV(露出補正)、解像度などの写真の詳細が表示されます。
- **写真の名前の変更:**  > **名前を変更** をタップして新しい名前を入力します。
- **写真をホーム画面の壁紙または連絡先の写真として設定:**  > **登録** に移動し、**壁紙** または **連絡先の写真** を選択します。

写真やビデオの共有:  **ギャラリー** を開きます。**写真** タブで、任意のアイテムを長押しすると、選択画面にアクセスできます。共有するアイテムを選択し、 をタップしてから共有方法を選択し、手順に従って操作を完了します。

撮影時刻別に表示: **写真** タブでは、写真やビデオが撮影時刻別に表示されます。全画面モードで写真を閲覧する際にタイムスタンプが表示されるようにするには、 > **設定** に移動し、**時間と場所を表示** を有効にします。日別の表示と月別の表示を切り替えるには、画面を2本の指でピンチアウトまたはピンチインします。

撮影場所別に表示: (カメラ 設定で) **GPSタグ** が有効になっている場合に撮影した写真やビデオは、マップビューで表示できます。**写真** タブで、 をタップします。位置情報を含む写真またはビデオが地図上でマークされます。画面を2本の指でピンチアウトすると地図がズームインし、撮影場所の詳細が表示されます。写真のサムネイルをタップすると、その場所で撮影されたすべての写真やビデオが表示されます。

アルバム別に表示:写真やビデオをアルバム別に表示できます。一部の写真やビデオは、デフォルトのアルバムに保存されます。たとえば、カメラで録画したビデオは **ビデオ アルバム**に保存されます。スクリーンショットと画面録画は **スクリーンショット アルバム**に保存されます。

スライドショーの再生:写真 タブで、 > **スライドショー** に移動してスライドショーを再生します。画面をもう一度タップすると、再生が一時停止します。

アルバムの整理

アルバムの追加:アルバム タブで、**アルバムの追加** をタップし、アルバムに名前を付け、OK をタップします。追加する写真またはビデオを選択します。

写真およびビデオの移動:写真やビデオをさまざまなアルバムから1つのアルバムに移動し、管理や閲覧を簡単にできます。 が表示されるまで移動する写真またはビデオを長押しし、移動する写真またはビデオをすべて選択します。 をタップし、目的のアルバムを選択します。移動したアイテムは、元のアルバムからはなくなります。

お気に入りに写真やビデオを追加:表示しやすいように、写真やビデオをお気に入りに追加できます。

自分のお気に入りにアルバムに追加する写真またはビデオを開き、 **をタップします。お気に入りの写真やビデオは元のアルバムに残り、サムネイルに** **アイコンが表示されます。**

アルバムの非表示:自分以外のユーザーが閲覧できないようにアルバムを非表示にし、プライバシーを保護できます。アルバム タブで、 > **アルバムを非表示** に移動し、非表示にするアルバムのスイッチをオンに切り替えます。

 **カメラ、ビデオ、自分のお気に入りに、スクリーンショット アルバムは非表示にできません。**

写真やビデオの削除: アイコンが表示されるまで写真またはアルバムを長押しします。削除するアイテムを選択し、 > **削除** に移動します。削除された写真やビデオは、永久に削除される前に、**最近削除したファイル** アルバムに一定期間残ります。削除までの残り日数のマークが、写真上に表示されます。手動で写真またはビデオを完全に削除するには、サムネイルを長押しし、 > **削除** に移動します。

削除した写真やビデオの復元:**最近削除したファイル** アルバムで、 アイコンが表示されるまで写真またはビデオを長押しします。復元するアイテムを選択し、 をタップすると、元のアルバムに復元されます。元のアルバムが削除されている場合は、新しいアルバムが作成されます。

端末管理

最適化の使用

端末の動作が遅くなってきたと感ずることがあります。マルウェアや他のセキュリティの脅威に対する脆弱性が心配になることもあります。最適化を使用すると、端末の動作がよりスムーズになり、セキュリティの脅威からも保護されます。

 **端末管理** を開いて、**最適化** をタップします。端末では、全体のパフォーマンス、セキュリティ、電池のパフォーマンスが自動的に最適化されます。最適化のオプションをカスタマイズすることもできます。最適化の使用は推奨されています。これにより端末の動作が速くなり、セキュリティリスクの確認が行われ、消費電力が最適化され、不明な電話番号からの電話や迷惑電話が監視およびブロックされます。

モバイルデータ通信量の管理

追加料金が発生しないように、モバイルデータの通信量を管理します。

 **端末管理** を開き、**データ通信量** をタップして、データの使用統計を表示するか、**スマートデータセーバー** を有効にします。

- **今月のデータ通信量**: アプリのデータ使用ランキングを確認します。
- **ネットワークアクセス**: 各アプリのインターネット接続権限を管理します。
- **スマートデータセーバー**: データセーバーを有効にし、バックグラウンドでの実行中にモバイルデータの使用を許可されているアプリを選択します。

スマート省電力の有効化

 **端末管理** を開き、 をタップして、**電池消費量を最適化** をタップします。システムによって現在の電池消費量ランキングが分析され、電池消費量を最適化する方法が提案されます。他の省電力モードを選択することもできます。

- **電池消費量の分析と最適化の有効化**: **電池消費量を最適化** をタップします。システムによって現在の電池消費量ランキングが分析され、電池消費量を最適化する方法が提案されます。
- **省電力モードまたはウルトラ省電力モードの有効化**: 待受時間を延長するには、ご利用の端末の電池残量に応じて **省電力モード** または **ウルトラ省電力** を有効にしてください。**省電力モード** を有効にすると、電池残量に基づいて  アイコンがステータスバーに表示されます。**省電力モード** では、バックグラウンドアプリの動作、視覚効果およびサウンドを制限することにより電力を節約します。**ウルトラ省電力** はより厳格なバックグラウンドアプリ制御を施行し、Wi-Fi、モバイルデータ通信およびその他のユーザー指定機能を除くすべての機能を無効化できます。
- **電池消費量詳細を表示**: **電池消費量詳細** をタップします。**電池消費量詳細** セクションの、充電中 グラフの下の色付きバーは、端末が充電されていた時間を示しています。バーとバーの間の空白部は

充電されていなかったことを示します。この機能は、電力を消費しません。消費電力の高いアプリやハードウェアを表示するには **電池消費量ランキング** をタップします。

- **スマート解像度の有効化による節電**: スマート解像度は、端末の解像度を自動的に下げて電力を節約します。画面を下にスクロールすると、**その他の設定をお探しですか** が表示されます。**画面の解像度** をタップし、**スマート解像度** を有効にします。そうすると、現在実行中のアプリに基づいて端末が画面の解像度を自動的に調整して電力を節約します。これに応じて、表示の品質が影響される点に注意してください。必要に応じて、画面の解像度を手動で設定して電力を節約することも可能です。
- **ステータスバーに電池残量(%)を表示**: **電池残量表示位置** を有効にし、表示モードを選択します。

省電力設定について理解を深めるには、 **端末管理** を開き、 > **その他の電池設定** に移動します。ここでは、以下の処理を実行できます。

消費電力の高いアプリの電池消費量を確認: **消費電力の高いアプリの履歴** をタップします。使用していないアプリを無効にします。

- **パフォーマンスモード** が有効になると、現在の状況に基づいてアプリのパフォーマンスが優先され、ユーザー体験(ゲームを楽しんでいるときなど)が改善されます。ただし、電池消費量が増え、端末が過熱する場合があります。

メッセージと E メール

メール(CS)

はじめに

メール(CS)は複数のアカウントに対応したメールアプリケーションです。

UQ mobileは、EメールアプリならびにSMSアプリとして、メール(CS)の利用を推奨しています。

-  UQのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQお客さまセンターまたはUQホームページをご確認ください。

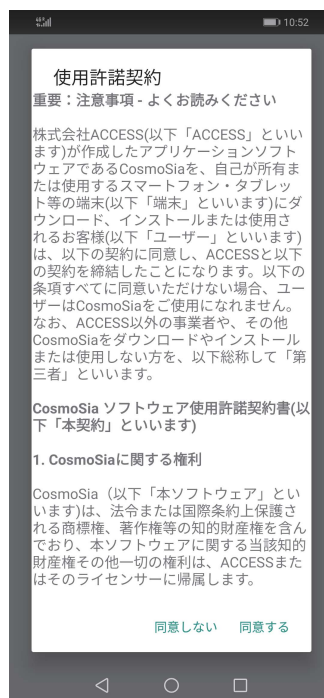
起動

ホーム画面をスワイプし、「メール(CS)」をタップする。

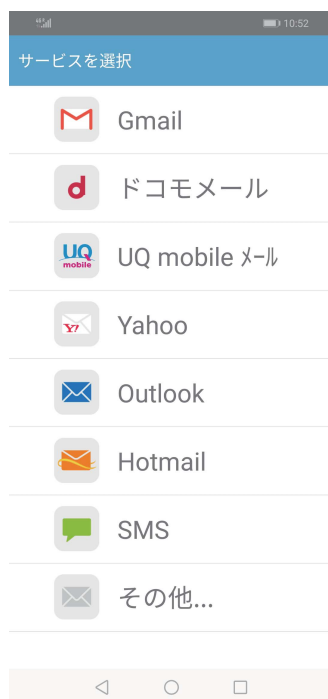
初期設定

-  ● Wi-Fi通信をOFFにし、モバイル通信をご利用ください。
- 以下の画面例はソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。

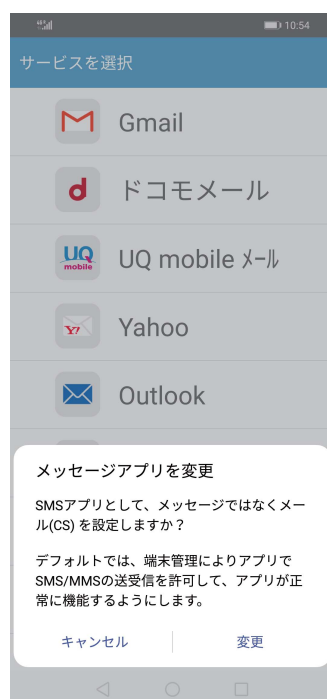
1 「同意する」をタップします。



- 2 UQのEメールサービスにお申し込み済みの方は、「UQ mobile メール」を、お申し込みされていない方は「SMS」をタップします。



- 3 「変更」をタップします。メール(CS)をSMSのデフォルトアプリに設定します。

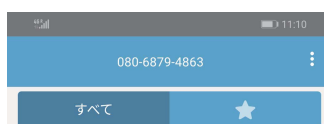


4 通信が完了すると、お客様情報が表示されます。ここからメールアドレスを変更できます。



- 5 これでMMSがご利用可能になりました。また、SMSのアカウントも自動で生成されました。メールアドレスを変更した際には、右上の  から「メール設定画面」をタップし、メールアドレスが正しいかご確認ください。これで、メール(CS)の準備ができました。Eメールおよびメッセージは、メール(CS)から実施してください。

 メール設定画面を選択する際には、Wi-Fi通信をOFFにし、モバイル通信をご利用ください。



メッセージがありません。



メッセージアプリ

基本的なメッセージ機能

メッセージの送信

SMSは、友達、家族、同僚と素早く簡単に連絡をとるためのツールです。文字だけでなく、絵文字を追加したり、写真や音声ファイルを挿入したりして、表現豊かなメッセージを作成することもできます。

メッセージの送信:  **メッセージ** を開きます。メッセージリスト画面で  をタップし、連絡先やグループを選択します。メッセージの内容を入力し、 をタップして他の種類のコンテンツを追加した後、 をタップしてメッセージを送信します。

メッセージの下書きの保存:  **戻る** をタップし、メッセージを下書きとして保存します。

メッセージの管理

メッセージアプリを使用すると、簡単にメッセージを確認・管理できます。

 **メッセージ** を開きます。メッセージスレッドのリストで、連絡先の名前または電話番号をタップし、会話のスレッドを表示します。

メッセージへの返信: テキストボックスにメッセージの内容を入力してから、 をタップします。

メッセージのアーカイブ: 重要なメッセージを誤って削除してしまわないか心配なときがあります。メッセージを長押しし、 をタップするとメッセージをアーカイブすることができます。

メッセージの削除: 大量のメッセージを管理するのは大変です。不要になったスレッドやメッセージを削除することで、メッセージリストをすっきりと整理できます。スレッドやメッセージを削除するには、スレッドやメッセージを長押しして編集画面に移動し、スレッドやメッセージを選択して  をタップします。削除したメッセージを復元することはできません。

メッセージの検索: 特定のメッセージを素早く見つけたい場合、メッセージリスト画面の検索バーにキーワードを入力すると、該当するメッセージが検索バーの下に表示されます。

連絡先のブロック: 連絡先からスパムメッセージを受信することがあります。メッセージを長押しし、 をタップすると該当する連絡先をブロックすることができます。

スパムメッセージのブロック

スパムメッセージを受信するのは煩わしいものです。メッセージブロックを有効にすることで、スパムメッセージに煩わされることがなくなります。

 **メッセージ** を開きます。

迷惑フィルタを使用すると、以下の操作を実行できます。

メッセージのブロック: メッセージを長押しして  をタップすると、その番号からのメッセージや着信をブロックできます。

メッセージのブロック解除:  をタップして、**ブロック中の連絡先**をタップします。電話番号の末尾にある  をタップすると、その番号のブロックを解除できます。

MMS メッセージ自動ダウンロードルールの設定

MMSメッセージ自動ダウンロードルールを設定すると、高額なモバイルデータ通信料を回避できます。



メッセージを開き、 をタップします。**設定 > 詳細設定**に移動します。

ここでは、次の項目を設定できます。

MMSメッセージの自動取得: MMSを自動ダウンロードを無効にすると、端末はMMSメッセージの自動ダウンロードを行わなくなります。

ローミング中のMMSメッセージの自動取得: ローミング時にMMSを自動ダウンロードを無効にすると、端末はローミングモード中のMMSメッセージの自動ダウンロードを行わなくなります。

メールアプリ

VIP メール連絡先の管理

たくさんのメールの中に埋もれている重要な連絡先からのメールを見逃さないようにする方法があります。重要な連絡先をVIPリストに追加することができます。VIP連絡先からのメールは、自動的に端末のVIPメールボックスに入ります。



メールを開いて  > **設定 > VIP連絡先** に移動します。VIPリスト 画面から、**追加 > 作成** または **連絡先から追加** に移動します。

VIP連絡先の追加または削除: VIPリスト 画面で、 または  をタップして、VIP連絡先を管理します。

スマートグループの作成

メールを送信する際に複数の受信者を手動で入力するのは面倒です。決まった受信者のグループにメールを送信したい場合があります。スマートグループを使用すると、さまざまなメールグループを作成できます。



メールを開いて、メールを開きます。送信者欄または受信者欄で、**グループに追加** をタップします。グループに追加する送信者または受信者を選択し、**OK** をタップします。グループ選択画面で **新しいグループの作成** をタップします。グループ名を入力して **保存** に移動します。

グループの作成後、連絡先グループの一覧から、編集するグループを選択します。以下の操作が可能です。

- **メンバーの追加:**  をタップし、グループに新しいメンバーを追加します。
- **メッセージの送信:**  をタップしてメッセージを送信するか、 をタップしてメールを送信します。

重要な予定をカレンダーにインポートする

山のようなメールに埋もれた重要な予定を見逃す心配はないでしょうか。重要な予定をカレンダーにインポートすれば、いつでも、どこでも確認することができます。

 **メール** を開き、メールから予定を選択して、 > **カレンダーに追加** を選択します。

Exchange メール of 自動返信の設定

休暇中にメールに返信できず、困ることはありませんか？自動返信を有効にすると、メールに自動的に返信できます。

 **メール** を開いて  > **設定** に移動し、Exchangeアカウントを選択します。**自動返信** をタップして**自動返信** を有効にし、自動返信の時間とコンテンツを設定して、**完了** をタップします。

カレンダー

カレンダーの操作

毎日を忙しく過ごす方には、Huawei端末の **カレンダー** アプリを使って、日々のスケジュールを管理することをお勧めします。

予定の作成:  **カレンダー** を開き、 をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。**通知を追加** に移動し、予定の通知を追加してから、 をタップします。

予定の検索: カレンダー ページで  をタップし、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

カレンダーの設定: カレンダー ページで  > **設定** に移動し、カレンダーの表示と通知をカスタマイズします。

目的地の正確な位置の確認:  **カレンダー** を開きます。ビューまたはスケジュールで、目的地が設定されている予定をタップすると、その予定に関する正確な位置情報を表示できます。

天気予報の確認:  **カレンダー** を開いてビューまたはスケジュールの予定をタップすると、予定がある日の天気予報を表示できます。

会議の参加者の確認:  **カレンダー** を開いて会議の通知をタップすると、参加者を表示できます。

To-Do をインポートしてタスクを整理する

To-Doがたくさんある場合、時間通りにこなすのは難しいものです。また、時には忘れてしまうこともあります。To-Doの項目をカレンダーにインポートして簡単に確認できるようにしておけば、大切な予定を忘れずに済みます。

会議の通知のインポート:  **カレンダー** を開いて  > **アカウントを管理** > **アカウントを追加** に移動し、画面の指示に従って仕事用のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加し、会議の通知を確認します。

予定の共有: カレンダーの予定やスケジュールの予定をタップしてから、 をタップし、画面の指示に従って、複数の方法のいずれかを使用して予定を共有します。

世界の休日の表示

出張や休暇で海外旅行に出掛ける予定はありますか？ 渡航先の国の休日情報を前もってダウンロードしておくと、仕事などのスケジュールを立てやすくなります。

 この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。不要なデータ通信料が発生しないよう、Wi-Fiネットワークに接続してください。

 **カレンダー** を開いて  > **設定** > **祝祭日** に移動し、渡航先の国に対応するスイッチをオンにします。その国の休日情報が自動的に端末にダウンロードされます。

時計

時計の使用

時計では、アラーム、世界の時刻、ストップウォッチ、タイマーなどの各種機能を利用できます。



世界各地の時刻の表示:  時計 を開いて、**世界の時刻** タブの  をタップし、都市の名前を入力するか、都市一覧から都市を選択します。日時を設定するには、 をタップします。

2つの地域の時刻の表示:  時計 を開いて、**世界の時刻** タブで  > **日付と時刻** に移動します。**デュアルクロック** を有効にして、**ホーム都市** をタップし、一覧から住んでいる都市を選択します。



- i** 2つの時刻が表示されるのは、ホーム都市に選択した地域とは異なる地域にいる場合のみです。それ以外の場合、時刻は1つしか表示されません。

メモ帳

メモを管理して記録を整理する

重要なメモを共有したり、お気に入りになにかを追加したいことはないでしょうか。メモを管理して、レコードを整理します。

メモの共有: 会議のメモを同僚に送りたいことはないでしょうか。すべてのメモ または すべてのTo-do の一覧ページで、共有したいメモを開いてから、 をタップし、共有方法を選択して画面の指示に従います。

メモのお気に入りへの追加: 後で参照できるように、お気に入りになにかを追加したいことはないでしょうか。すべてのメモ の一覧ページで、メモを左にスワイプして  をタップします。または、お気に入りになにかを追加したいメモを開いて、 をタップします。

メモの削除: 日付が古いメモを削除したいことはないでしょうか。すべてのメモ または すべてのTo-do の一覧ページで、メモを左にスワイプしてから  をタップします。または、メモを長押ししてオプションを表示し、削除したいメモを選択して、 をタップします。

メモの検索: メモをすばやく見つけたいことはないでしょうか。すべてのメモ の一覧ページにある検索バーをタップして、検索バーにキーワードを入力します。または、ホーム画面を下にスワイプして検索バーにアクセスし、検索バーにキーワードを入力します。

To-Doリストの生成: ショッピングリストを作成したいことはないでしょうか。メモ帳 ページで  >  をタップして、項目に入力してから、保存 をタップします。複数の項目を追加してTo-Doリストを生成します。

 項目の入力が完了したら、すべてのTo-do の編集ページに移動して、入力済み項目の左側の  を選択します。

手書きメモの追加: 図や手書きメモを手軽に保存したいことはないでしょうか。メモ >  に移動し、 をタップして、メモを作成し、 をタップして保存します。メモ帳で文章の作成や描画ができます。

メモへのタグの追加: メモのカテゴリを簡単に表示したいことはないでしょうか。メモ の編集ページで、 をタップし、さまざまな色のタグを使用して内容別に分類し、メモを見やすくします。

ツール

音声レコーダーを使用した音声メモの作成

会議中に重要なメモを取るには時間が足りないと感じたことはありませんか。取材や講義でとった多くのメモを整理する必要に迫られることもあります。音声レコーダーを使用すると、音声ファイルに録音して後で再生できて便利です。

 **音声レコーダー**を開き、をタップして録音を開始します。録音中に、重要なポイントにタグを追加できます。をタップして録音を終了し、音声ファイルを保存します。

録音完了後、以下の操作を行うことができます。

- **タグによる録音の再生**: 録音ファイルリストで録音ファイルをタップすると再生画面が表示されます。再生画面で追加したタグをタップすると、該当するポイントから録音を再生できます。
 - **録音ファイルの管理**: 録音ファイルを長押しすると、録音ファイルの共有や削除などのオプションを利用できます。
-  録音ファイルリストで録音ファイルを長押しし、次に  > **詳細** をタップしてファイルの保管場所を表示します。

マルチユーザー

複数のユーザーの設定と使用

仕事用とプライベート用に使い分けるために、端末に複数のユーザーアカウントがあると便利です。ご利用の端末に複数のユーザーを追加して、ワンタップで切り替えることができます。

ユーザーまたはゲストの追加

 最大3人のユーザーと1人のゲストを追加できます。

ユーザーの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。**ユーザーを追加** をタップし、ユーザーの名前を入力し、**追加** をタップします。追加後、新しいユーザーに切り替えて、画面の指示に従いアカウント設定を行います。

ゲストの追加:  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。**ゲストを追加** > **追加** をタップしてゲストを作成します。

ユーザーアカウント名およびプロフィール画像の設定: ユーザーを追加した後、ユーザーアカウント名とプロフィール画像を設定できます。これを行うには、該当するユーザーに切り替えて  をタップします。画面の指示に従ってユーザー名およびプロフィール画像を変更します。

通話、メッセージの送信、通話履歴共有の許可: 別のユーザーモードに切り替えた後でも基本的な通話機能を使用できます。追加した新しいユーザーは、通話、メッセージの送信、および端末所有者との通話履歴の共有ができます。ゲストユーザーは、通話および端末所有者との通話履歴の共有ができません。これを行うには、所有者のアカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。必要なユーザーを選択し、**通話、メッセージ、通信履歴の共有を許可** をタップします。

ユーザーまたはゲストの削除

ユーザーを削除するには、次のいずれかの方法を選択します。

- 所有者アカウントでログインし、 **設定** をタップした後、**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。
- 所有者アカウントでログインし、ステータスバーを下にスワイプして、 > **詳細設定** に移動します。目的のユーザーを選択し、**ユーザーを削除** > **削除** をタップします。

ゲストを削除するには、 **設定** をタップします。**ユーザーとアカウント** > **ユーザー** に移動し、**ゲスト** > **ゲストを削除** > **削除** をタップします。

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードの切り替え

所有者アカウント、ユーザー、ゲストモードを切り替えるには、次のいずれかの方法を選択します。

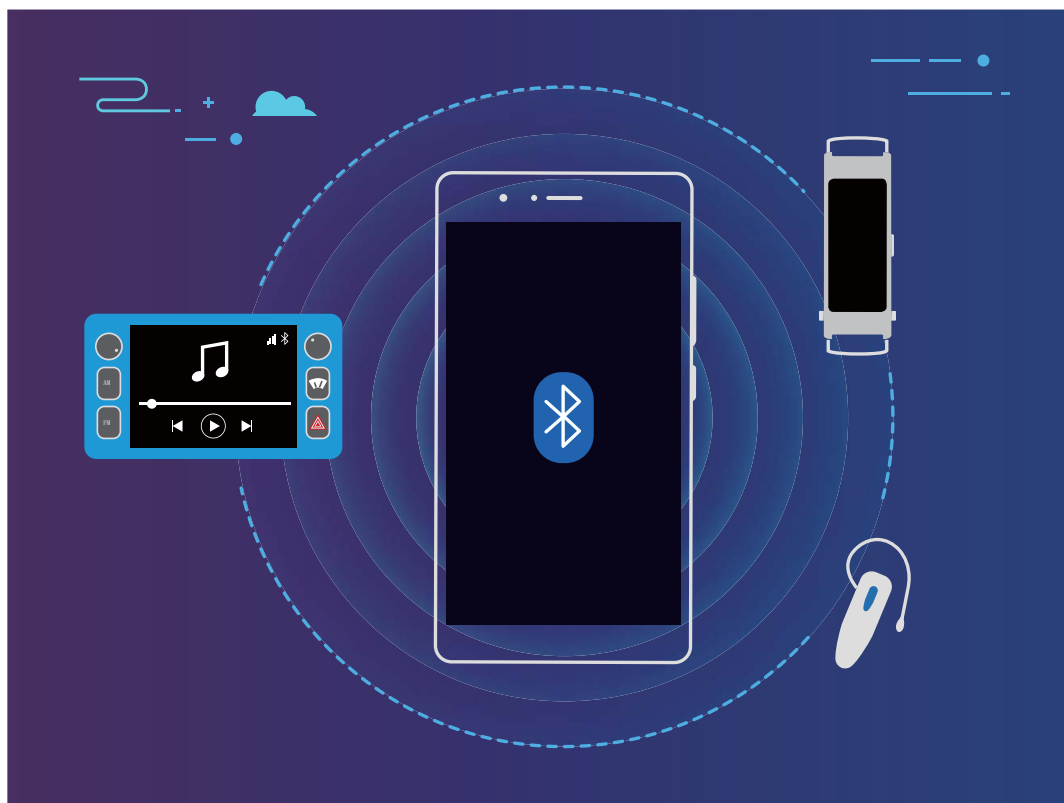
- ステータスバーを下にスワイプし、 をタップします。次に、目的のユーザーのプロフィール画像をタップします。

-  **設定** をタップし、**ユーザーとアカウント > ユーザー** に移動します。次に、目的のユーザーのユーザー名またはプロフィール画像をタップします。
-  別のユーザーから所有者に戻すときに、画面ロック解除用のパスワードの入力が求められます。

デバイス接続

端末の Bluetooth 機器への接続

Bluetoothを使用することで、端末をBluetoothヘッドセットや車内Bluetoothに接続して、運転中にナビを利用したり、音楽を聴いたりできます。また、端末をBluetoothウェアラブル機器に接続して、健康に関するデータを記録/管理することもできます。Bluetooth機器を端末に接続しても、消費電力が大幅に増加することはありません。



Huaweiの端末が使用するBluetoothプロトコルとその機能:

HFP、HSP	通話
A2DP	音楽の再生
AVRCP	音楽再生のコントロール
OPP	ファイルの転送
PBAP	連絡先の同期
MAP	テキストメッセージ(SMS)の同期
HID	Bluetoothキーボードとマウスの操作
PAN	テザリング
BLE	BLE (Bluetooth Low Energy) 機器への接続

Bluetoothを有効または無効にする: ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効または無効にします。  を長押しすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

Bluetooth機器のペアリング: Bluetooth機器の設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。Bluetooth機器が他の端末から検出可能な設定になっていることを確認します。使用可能なデバイスで、ペアリングする機器をタップし、画面の指示に従ってペアリングを完了します。

Bluetooth機器のペアリング解除: Bluetooth機器の設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。ペアリングされている機器の名前の横にある  をタップし、**ペアリング解除** をタップします。

Bluetooth機器の名前の変更: Bluetooth設定画面で **BluetoothをONにする** を有効にします。端末名 をタップして機器の新しい名前を入力し、**保存** をタップします。

Bluetoothヘルプの表示: Bluetooth設定画面で  をタップすると、車載システム、ヘッドセット、スピーカー、ウェアラブル機器、端末、タブレット、コンピュータとのBluetooth接続の確立方法に関する情報が表示されます。

USB デバイスの接続

端末とコンピュータ間でのデータ転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送します。

USB接続モードの選択

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、常用の接続方法を選択できます。端末とコンピュータ間で写真やファイルを転送したり、コンピュータへのUSB接続によって端末を充電したりできます。

ステータスバーを下にスワイプして通知パネルを開いた後、**設定 > タップしてその他のオプションを表示**、コンピュータへの端末の接続方法を選択します。

- **写真を転送**: 端末とコンピュータ間で写真を転送します。
- **ファイルを転送**: 端末とコンピュータ間でファイルを転送します。
- **充電のみ**: 端末の充電だけを行います。
- **MIDI入力**: 端末をMIDI入力端末として使用し、コンピュータで音楽を再生します。

USBポートを使用したデータの転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送したり、その他のタスクを行うことができます。

- **ファイルの転送**: MTP (Media Transfer Protocol) は、メディアファイルを転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間でファイルを転送できます。MTPを使用する前に、コンピュータにWindows Media Player (11以降) をインストールしてください。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **ファイルを転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末

の名前が付いたドライブを開き、端末に保存されているファイルを閲覧します。Windows Media Playerを使用して端末のマルチメディアコンテンツを閲覧することもできます。

- **画像の転送**: PTP (Picture Transfer Protocol) は、画像を転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間での画像の転送が簡単になります。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **写真を転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されている画像を閲覧します。

- **端末へのMIDIデータの転送**: MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、作曲家や電子楽器メーカーを対象とした業界標準のオーディオ規格です。

ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **MIDI入力** を設定します。これにより、この端末と別の端末の間でMIDIデータを転送できます。

Huawei Share

Huawei Share: すぐれたファイル共有方法

端末と他のモバイル端末間、または端末とコンピュータ間で素早くアプリを共有したり、写真やファイルを転送したいことがあります。Huawei Shareを使用すると、素早くアプリを共有し、端末、タブレット、コンピュータ間でファイルを無線で転送できます。

Huawei Shareは、以下の端末間のデータ転送に対応しています。

- **モバイル端末とタブレット**: Huawei Shareを使用すると、端末上の写真やファイルを、他のスマートフォンやタブレットと共有できます。共有する写真やファイルを長押しし、共有オプションからHuawei Shareを選択すると、モバイルデータ通信量を消費せずに簡単に共有できます。
- **端末とコンピュータ (WindowsまたはMac)**: Huawei Shareを使用すると、端末上の写真やファイルをコンピュータと共有することができ、コンピュータを使用して端末上の写真を編集することもできます。

Huawei Shareでは、USBケーブルを使わずに端末とコンピュータ間でデータ転送ができます。

- **i** ただし、端末とコンピュータの両方が、同じネットワーク (Wi-Fiネットワークなど) に接続している必要があります。



Huawei Share を使用して Huawei 端末間でファイルを素早く共有する

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真やビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

i Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが両方とも自動的に有効になります。

Huawei Shareを使用したファイルの送信：他のHuawei端末に送信したいファイルを選択し、**共有** をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

Huawei Shareを使用したファイルの受信：ステータスバーを下にスワイプしてショートカットパネルを開き、**(📶)** をタップしてHuawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、**承諾** をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

i 2台のHuawei端末が同じHUAWEI IDを使用してログインしている場合、確認は必要ありません。

Huawei Share を使用して端末とコンピュータ間でファイルを転送する

端末からコンピュータ(Windows PCまたはMac)へ写真とビデオをすばやく転送したいときがあります。Huawei Shareを使用すれば、USBケーブルさえ使用せずに、以前よりはるかに簡単に転送できます。

端末からWindows PC

- 1 開始する前に、端末がコンピュータと同じネットワーク(同じWi-Fiネットワークなど)に接続されていることを確認します。

- 2 端末で  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** に移動して **Huawei Share** および **コンピュータとの共有** を有効にします。
- 3 同じ画面で、**コンピュータ上に表示される名前** を確認してメモし、**コンピュータでの確認** をタップしてユーザー名とパスワードを表示してメモします。
- 4 Windows PCで、**Computer** > **Network** に移動し、**コンピュータ上に表示される名前** をダブルクリックして、前のステップでメモしたユーザー名とパスワードを入力します。端末の内部ストレージフォルダまたはアルバムフォルダがコンピュータに表示されます。
 -  このようなフォルダのコンテンツは自動的にWindows PCに保存されませんが、必要に応じてコンピュータからアクセスし、コンピュータ内にコピーして、保存できます。
- 5 Windows PCで内部ストレージまたはアルバムにあるファイルや写真を編集することも可能で、変更は自動的に端末に同期されます。同様に、端末でファイルや写真を編集すると、変更はコンピュータにも同期されます。

端末からMac:

- 1 開始する前に、端末がコンピュータと同じネットワーク(同じWi-Fiネットワークなど)に接続されていることを確認します。
 - 2 端末で  **設定** を開き、**デバイス接続** > **Huawei Share** に移動して **Huawei Share** および **コンピュータとの共有** を有効にします。
 - 3 同じ画面で、**コンピュータ上に表示される名前** を確認してメモし、**コンピュータでの確認** をタップしてユーザー名とパスワードを表示してメモします。
 - 4 Macで、**Finder** > **Go to** > **Network** に移動し、**コンピュータ上に表示される名前** をダブルクリックして、登録するユーザーアカウントを選択し、前のステップでメモしたユーザー名とパスワードを入力します。内部ストレージフォルダまたはアルバムフォルダがMacに表示されます。
 -  このようなフォルダのコンテンツは自動的にMacに保存されませんが、必要に応じてコンピュータからアクセスし、コンピュータ内にコピーして、保存できます。
 - 5 Macで内部ストレージまたはアルバムにあるファイルや写真を編集することも可能で、変更は自動的に端末に同期されます。同様に、端末でファイルや写真を編集すると、変更はMacにも同期されます。
-  この機能はiOS 10.8以降のMacコンピュータでサポートされています。

Huawei Share によるワンタッチ印刷

旅の写真、仕事のファイル、子供の宿題を端末ですぐに印刷するにはどうすればよいでしょうか？

Huawei Shareで手軽にできるワンタッチ印刷を体験してください。

Huawei Shareのワンタッチ印刷機能の使い方は簡単です。使用を開始するには、ステータスバーを下にスワイプしてすべてのショートカットを表示し、**Huawei Share** を有効にします。印刷するファイルを選択し、**共有** をタップします。サポートされているプリンタが近くにあれば、検出は容易です。プリンタの名前をタップし、プレビュー画面で設定を調整し、**印刷** をタッチします。

- 
 - 現在、Huawei Shareでは画像とPDFファイルのワンタッチ印刷がサポートされています。
 - サポートされているプリンタのリストを確認するには、Huawei Shareセクションで(このセクションへは共有する写真またはPDFの「共有」アイコンをタップしてアクセスします) **詳細** をタップし、画面を左にスワイプしてから **サポートされているプリンタについて** をタップするとリストが表示されます。

セキュリティとプライバシー

顔情報の登録と顔認証の有効化

顔認証により、パスワードを入力しなくても迅速かつ安全に端末のロックを解除できます。

- ⚠️ 顔認証は、所有者アカウントでログインしている場合にのみ使用できます。これはPrivateSpaceではサポートされていません。
- ロック画面のパスワードが3日以上連続で入力されていない場合、または端末がリモートでロックされた、あるいは再起動された場合、顔認証は使用できません。
- 顔認証を使用する場合、目を開いた状態で20～50cm(約8～20インチ)の距離から端末に対してまっすぐに顔を向けます。顔を正確にスキャンできるように、この機能を使用する場合は暗い場所や顔に直射日光が当たる場所を避けてください。
- 現在、顔の登録は1つのみ可能です。再登録する場合は、現在の顔データを削除してください。

-  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > 顔認証** に移動し、ロック画面のパスワードを入力します。
 -  ロック画面のパスワードを設定していない場合は、まずパスワードを設定します。6桁のPIN以外に、次の種類のパスワードを設定できます。**パターン、4桁のPIN、カスタムPIN、パスワード**。
- スムーズな顔認証のために、端末持ち上げによる画面起動を有効にする** を選択すると、端末を持って顔に近づけた場合、画面が点灯し、ロックが解除されます。この機能が不要な場合、未選択のままにします。**顔を登録** をタップし、顔の登録を行います。
- 顔認証モード：
 - ダイレクトロック解除**: 画面を点灯します。ユーザーの顔の特徴が認識され、画面のロックが解除されます。
 - スライドしてロック解除**: 画面を点灯します。端末でユーザーの顔の特徴が特定された後、ロック画面をスライドしてロックを解除します。
 - スマートロック画面の通知表示**: **スライドしてロックを解除** および **スマートロック画面の通知** を有効にします。ロック画面では通知の詳細が非表示になり、所有者の顔が認証された後にのみ表示されるようになります。
 - アプリロックへのアクセス**: **アプリロックへのアクセス** を有効にすると、アプリロックとロックされたアプリへのアクセスに顔認証が使用されるようになります。

指紋

指紋認証: すばやい操作とセキュリティの向上

指紋認証を使用すると、ご利用の端末のロックをすばやく解除できるだけでなく、個人情報のセキュリティも向上します。

指紋を使用すると、以下の操作を実行できます。

- **ワンタップでの画面ロック解除**: PINコードやパターンでの画面ロック解除は面倒なものです。指紋を使用すると、ワンタッチで画面のロックをすばやくセキュアに解除できます。
- **プライベートファイルへのアクセス**: Safeボックスやロックしたアプリのパスワードを忘れたり、知らない人に知られたりすると大変です。Safeボックスやロックしたアプリに指紋でのアクセスを設定すると、ファイルやアプリの安全性を確保し、自分だけがアクセスできるようになります。



指紋のショートカットを使用した素早い端末操作

写真のシャッターボタンに手が届かないときや、素早く着信に応答したり、アラームを止めたりしたいときがあります。指紋センサーを使うことで、指1本でスムーズに写真を撮影したり、電話に出たりすることができます。指紋認証は不要です。

 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。ここから、次の機能に対して指紋のショートカットを有効にできます。

- **写真やビデオの撮影**: カメラのビューファインダー画面で指紋センサーを長押しすると、写真またはビデオを撮影できます。
- **着信への応答**: 指紋センサーを長押しすると、着信に応答できます。
- **アラームの停止**: 指紋センサーを長押しすると、アラームを止められます。
- **通知パネルの表示**: ポートレートモードで指紋センサーに指をあてて下にすべらすと通知パネルが表示され、2回タップすると通知がクリアされ、上にすべらすと通知パネルが閉じます。
- **画像の閲覧**: フルスクリーンモードで画像を表示しているときに指紋センサーを左右にスワイプすると、別の画像を表示できます。

指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやアプリロックにアクセスしたりすることができます。

- ⚠️ • 指紋によるロック解除は、ロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されない場合は、画面のロック解除パスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れていたり、濡れていたりしていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** > **ロック解除方法を変更** に移動して、**パターン**、**4桁のPIN**、**カスタムPIN** または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従ってロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーの上に置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先のさまざまな部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

指紋の追加または変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。
- 4 指紋リスト セクションでは、以下の操作を実行できます。
 - **新しい指紋の登録**: **新しい指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
 - **指紋の名前の変更または削除**: 登録済みの指紋をタップして、名前を変更または削除します。
 - **指紋の識別**: **指紋認証** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単になります。この方法は、便利で安全です。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 画面のロック解除パスワードを入力して、画面の指示に従って指紋の設定画面を開きます。**Safeボックスへのアクセス**、**アプリロックへのアクセス** を有効にしてから、画面の指示に従ってパスワードを入力します。

これで以下の操作を行うことができます。

- 指紋によるSafeボックスへのアクセス:  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
- アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス: 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。

位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

位置情報サービスの有効化/無効化:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとする、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

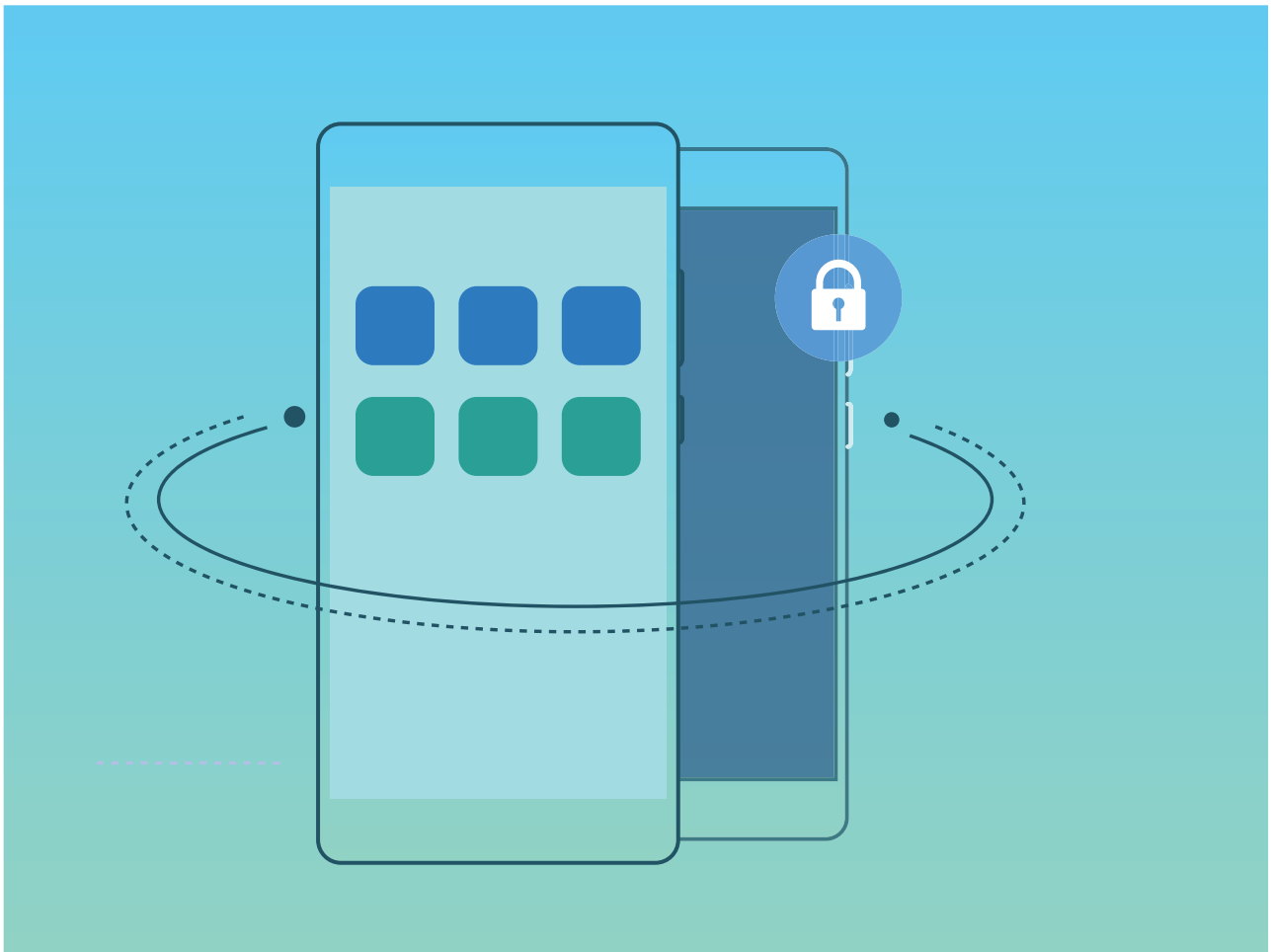
-  機能は通信事業者によって異なる場合があります。
- Huaweiは、個人情報を持定して収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

屋内測位の支援機能の設定:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** > **詳細設定** に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

PrivateSpace

PrivateSpace: 個人情報の保護

PrivateSpaceは、端末に独立したスペースを作成し、個人情報を保存できる機能です。PrivateSpaceに保存されているファイルとアプリにはMainSpaceからアクセスできません。



PrivateSpaceには次の機能があります。

- **PrivateSpaceを非表示にする**: PrivateSpaceのすべてのデータを他のユーザーから見えなくしたい場合があります。MainSpaceでPrivateSpaceを非表示にしてPrivateSpaceを保護することができます。
 - **MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える**: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。MainSpaceとPrivateSpaceを切り替えるときは、Wi-FiネットワークとBluetoothデバイスは接続されたままになります。
 - **MainSpaceとPrivateSpaceの間でファイルを移行する**: MainSpaceとPrivateSpaceの間で写真やビデオなどのファイルの移行を簡単に実行できます。
 - **PrivateSpaceのパスワードをリセットする**: PrivateSpaceのパスワードを忘れた場合は、MainSpaceのパスワードを入力し、セキュリティ質問に回答してリセットできます。
 - **PrivateSpaceのデータをバックアップする**: PrivateSpaceでSpace Clone機能を使用すると、PrivateSpaceを別の端末にコピーできます。
- i** パスワードや指紋を使用してロック画面からPrivateSpaceに直接切り替える場合、PrivateSpaceのパスワードは別のコンテンツを含むMainSpaceのパスワードと同じである必要があります。同じでない場合、ロック画面からPrivateSpaceにアクセスできません。

PrivateSpaceの有効化

端末で写真などを見せられているときに、個人情報が他人に見られることが心配になる場合があります。PrivateSpaceを使用すると、指紋やパスワードでしかアクセスできない、端末内の保護されたスペースに個人情報を格納することができます。

- ❗ 最大3人のユーザーを、端末と PrivateSpace のユーザー に追加できます。設定 > ユーザーとアカウント > ユーザー > ユーザーを追加 に3人のユーザーをすでに追加している場合、PrivateSpace にユーザーを追加することはできません。

PrivateSpaceの有効化: 初めてPrivateSpaceを使用する場合は、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 有効** に移動し、画面の指示に従ってPrivateSpaceを作成します。

- ❗ 1ユーザーにつき、1つのPrivateSpaceのみ作成できます。

MainSpaceとPrivateSpaceを素早く切り替える: ロック画面では、指紋やパスワードを使用して素早くMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。端末の再起動後、まず自分のパスワードを使ってMainSpaceにログインする必要があります。これにより、ロック画面からMainSpaceとPrivateSpaceを切り替えることができます。

PrivateSpaceへの移動: 指紋やパスワードを使用して、ロック画面から直接PrivateSpaceに入ることができます。MainSpaceで  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > ログイン** からPrivateSpaceに移動することもできます。

PrivateSpaceの終了: PrivateSpaceを終了すると、PrivateSpaceが使用するすべてのシステムメモリが解放されます。必要に応じていつでもPrivateSpaceに切り替えることができます。PrivateSpaceを終了するには、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 終了** に移動します。

PrivateSpaceの削除: PrivateSpaceを削除すると、PrivateSpace内に格納されているすべてのアプリとデータが完全に削除され、このデータを復元できなくなります。PrivateSpaceは以下の方法で削除できます。

- MainSpaceから  **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** に移動し、**PrivateSpaceを削除** をタップします。
- PrivateSpaceから  **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > 削除** に移動します。

PrivateSpace を非表示にする

PrivateSpaceのすべての履歴を他の人から見えなくしたい場合、MainSpaceで、PrivateSpaceメニューを隠して、PrivateSpaceの存在を隠しておくことができます。

PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** から **PrivateSpaceを隠す** を有効にします。PrivateSpaceメニューを非表示にすると、ロック画面で自分の指紋やパスワードを使うことでしかPrivateSpaceを利用できなくなります。

PrivateSpace と MainSpace 間でのファイル転送

プライベートの写真、音楽、ビデオを自分のPrivateSpaceとMainSpaceの間で素早く転送します。

- 1 PrivateSpaceで、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** に移動します。
- 2 MainSpaceからPrivateSpace または PrivateSpaceからMainSpace をタップします。
- 3 画面の指示に従ってファイルを選択し、目的の場所に転送します。

- ❗ ご利用の端末またはメモリーカードに保存されたファイルをMainSpaceからPrivateSpaceに転送できます。端末に保存されたファイルのみPrivateSpaceからMainSpaceに転送できます。クラウドに保存されているファイルは、PrivateSpaceとMainSpaceの間で転送することはできません。一部の端末では、メモリーカードがサポートされていません。

デフォルトでは、転送された画像ファイルは **ギャラリー > アルバム > Shared images** に、ビデオファイルは **ギャラリー > アルバム > Shared videos** に、オーディオファイルは **ファイル > 内部ストレージ > Move files > Shared audio** に保存されています。

新しい端末への PrivateSpace データの移行

PrivateSpaceをコピーすることで、個人的なファイルを別の端末に素早く移行できます。

- ❗
 - データを移行する前に、新しい端末に十分な空き容量があることを確認してください。
 - 別の端末に移行できるデータは、写真、音声ファイル、ビデオです。
- 1 新しい端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > Space Clone > この端末は新しい端末です** に移動してQRコードを生成します。
 - 2 古い端末のPrivateSpaceに入り、 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace > Space Clone > この端末は古い端末です** に移動します。画面の指示に従って新しい端末に表示されているQRコードを読み取ります。または、古い端末を新しい端末のWi-Fiアクセスポイントに手動で接続します。接続が確立したら、該当するデータを選択し、古い端末から新しい端末にデータを移行します。
- ❗ 移行処理中はいつでもファイルの移行を取り消すことができ、接続を再確立すると、処理が続きから実行されます。

PrivateSpace のパスワードのリセット

パスワードが多すぎて覚えきれないことはないでしょうか。パスワードを忘れたら、PrivateSpaceに入れないのでしょうか。セキュリティ質問を設定すれば、PrivateSpaceパスワードを忘れたときにセキュリティ質問に回答し、PrivateSpaceのパスワードをすばやくリセットできます。

セキュリティ質問機能の有効化: PrivateSpaceに入り、 **設定** を開き、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** に移動します。**パスワード保護** をタップし、画面の指示に従ってMainSpaceおよびPrivateSpaceのパスワードを入力してパスワードに関するセキュリティ質問の画面を開きます。

セキュリティ質問の設定: セキュリティ質問をタップし、事前に設定されたセキュリティ質問のいずれかを選択するか、自分で独自に質問を作成します。セキュリティ質問の回答を入力し、**完了** をタップしてセキュリティ質問機能を有効にします。

- ❗ セキュリティ質問機能を有効にした後で、セキュリティ質問とその回答を変更することもできます。

PrivateSpaceのパスワードの変更: MainSpaceに入り、 **設定** を開いて、**セキュリティとプライバシー > PrivateSpace** へ移動します。⋮ > **パスワードのリセット** をタップします。画面上の指示に従ってMainSpaceのパスワードとセキュリティ質問の回答を入力し、PrivateSpaceのパスワードを設定します。

- ❗ PrivateSpaceでパスワードに関するセキュリティ質問を設定してからでないと、MainSpaceでPrivateSpaceのパスワードはリセットできません。

 PrivateSpaceが非表示で、PrivateSpaceのリセット画面に入ることができない場合：MainSpaceに入り、 **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > その他の設定 > すべての設定を表示 に移動して OK をタップし、PrivateSpaceを表示します。

アプリロックの有効化

アプリロック機能では、重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をさらに保護するレイヤーが追加され、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

アプリロックの有効化：  **設定** を開きます。セキュリティとプライバシー > **アプリのロック** に移動します。初めてアプリロック機能を有効化する場合、パスワードとパスワード保護の質問を設定して、アプリロックに入ります。アプリロック画面で、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開くときには、パスワードを入力する必要があります。パスワードを忘れてしまった場合は、**パスワードを忘れた** をタップし、パスワード保護の質問の答えを入力し、パスワードをリセットします。パスワード保護を設定していない場合は、**パスワードを忘れた** オプションは使用できません。

アプリロックパスワードとパスワード保護の変更：アプリロック画面で  をタップし、**パスワードを変更** または **パスワード保護を変更** をタップすることで、アプリロックパスワードやパスワード保護を変更できます。

バックアップと復元

データのバックアップ: データ消失の防止

端末に保存されている大切なデータが失われることのないように、データを定期的にバックアップしてデータの消失に備えてください。

端末のデータは、次のいずれかの方法でバックアップできます。

- **NMカード(ナノメモ리카ード)にバックアップする:**ご利用の端末がNMカードに対応している場合は、いつでもNMカードにデータをバックアップして、データの消失を防ぐことができます。
 -  一部の端末では、NMカードがサポートされていません。
 - NMカードをカードスロット2に挿入します。NMカードは正規のファーウェイカスタマーサービスセンターまたはお客様サポートホームページ内でご購入いただけます。
- **USBストレージデバイスにバックアップする:** 端末をUSB OTGケーブルで接続して、大切なデータをUSBストレージデバイスにバックアップできます。
- **コンピュータまたはホームNASデバイスにバックアップする:** Wi-Fiスキャンを使用して同じWi-Fiネットワーク上の共有フォルダを検出することで、端末内の写真やサイズの大きいファイルなどの大切なすべてのデータをコンピュータやホームNASデバイスにバックアップできます。これにより、端末内のデータの消失を防ぎ、端末のストレージに空き容量を確保できます。

端末のリセット

キャッシュや未処理のファイルが長期間にわたって蓄積すると、端末の処理速度が遅くなることがあります。そんなときは、端末をリセットすることで、キャッシュされたファイルをすべて消去し、端末の初期設定に戻すことができます。

ネットワーク設定のリセット: Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定(テザリングやBluetoothペアリング情報を含む)を元に戻すことができます。端末の他の設定は変更されず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > ネットワーク設定のリセット** に移動して **ネットワーク設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

すべての設定を元に戻す: 端末の初期ネットワーク設定と指紋認証/顔認証のデータおよびロック画面のパスワードをリセットすることができます。端末探索やHUAWEI IDの設定はリセットされず、データやファイルも削除されません。

 **設定** を開き、**システム > リセット > 全ての設定をリセット** に移動して **全ての設定をリセット** をタップし、画面の指示に従って設定をリセットします。

初期化する: アカウント設定、システム設定、アプリデータ、インストールされているアプリ、曲、画像、ドキュメントなど、端末のメモリとストレージに保存されているすべてのデータを削除し、端末を初期化することができます。端末を初期化する前にデータをバックアップしてください。



設定を開き、**システム** > **リセット** > **端末をリセット**に移動して **リセット** をタップし、必要に応じて画面のロック解除パスワードを入力し、画面の指示に従って端末を初期化します。

共有フォルダを使用したコンピュータまたはホーム NAS デバイスへのデータのバックアップ

大切なデータ、写真、サイズの大きいファイルを端末に保存していると、もしものときが心配です。共有フォルダを使用してデータをコンピュータやホームNASデバイスにバックアップすることで、端末のデータ消失を防ぎ、端末のストレージに空き容量を確保できます。



設定を開いて、**システム** > **バックアップと復元** > **データのバックアップ** > **外部ストレージ** > **共有フォルダ**に移動し、**共有フォルダを追加** をタップします。端末でWi-Fiスキャンを使用して同じネットワーク上にPCまたはNASデバイスが検出されたら、デバイスをタップしてアクセスし、共有フォルダを追加します。次に、**バックアップ** をタップし、**データを選択** でバックアップするデータを選択し、**バックアップ** をタップします。



⋮ > **バックアップの暗号化** > **バックアップを暗号化** をタップして、バックアップページで **バックアップの暗号化** を有効にし、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。パスワードは、後でファイルを復元するときに使用します。バックアップパスワードは忘れないようにしてください。また、パスワードを思い出せるようにセキュリティに関する質問を設定してください。パスワードがないと、バックアップファイルを取得できなくなります。

Wi-Fi とネットワーク

Wi-Fi

Wi-Fi+の概要

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末が既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なネットワークを自動的に選択して、最適なインターネット接続を実現します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する:** 現在地の電波強度に基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはモバイルデータネットワークから自動的に選択して接続します。

i 以下のステータスバーのアイコンで接続状態を確認できます。

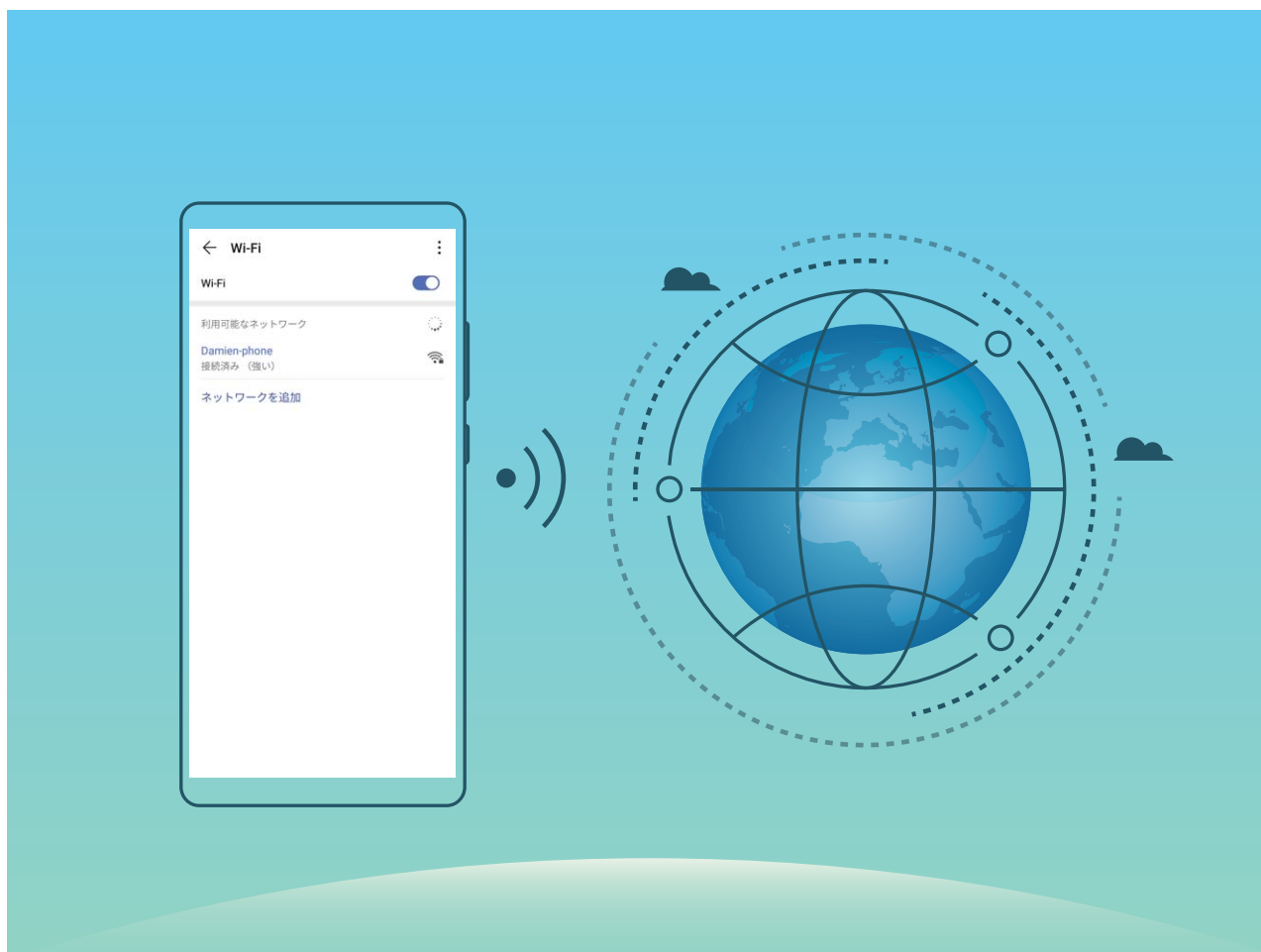
-  アイコンは、ご利用の端末がWi-Fiでインターネットに接続されていることを示します。
- アンテナの左下の **①** アイコンは、ご利用の端末がモバイルデータ通信でインターネットに接続されていることを示します。

- **Wi-Fiの自動オン**: 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークに基づいて、特定の場所でWi-Fiが自動的に有効になります。これにより、端末が新しいネットワークを常に検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価**: 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

Wi-Fi への接続

端末をWi-Fiネットワークに接続することで、モバイルデータの使用量を節約できます。

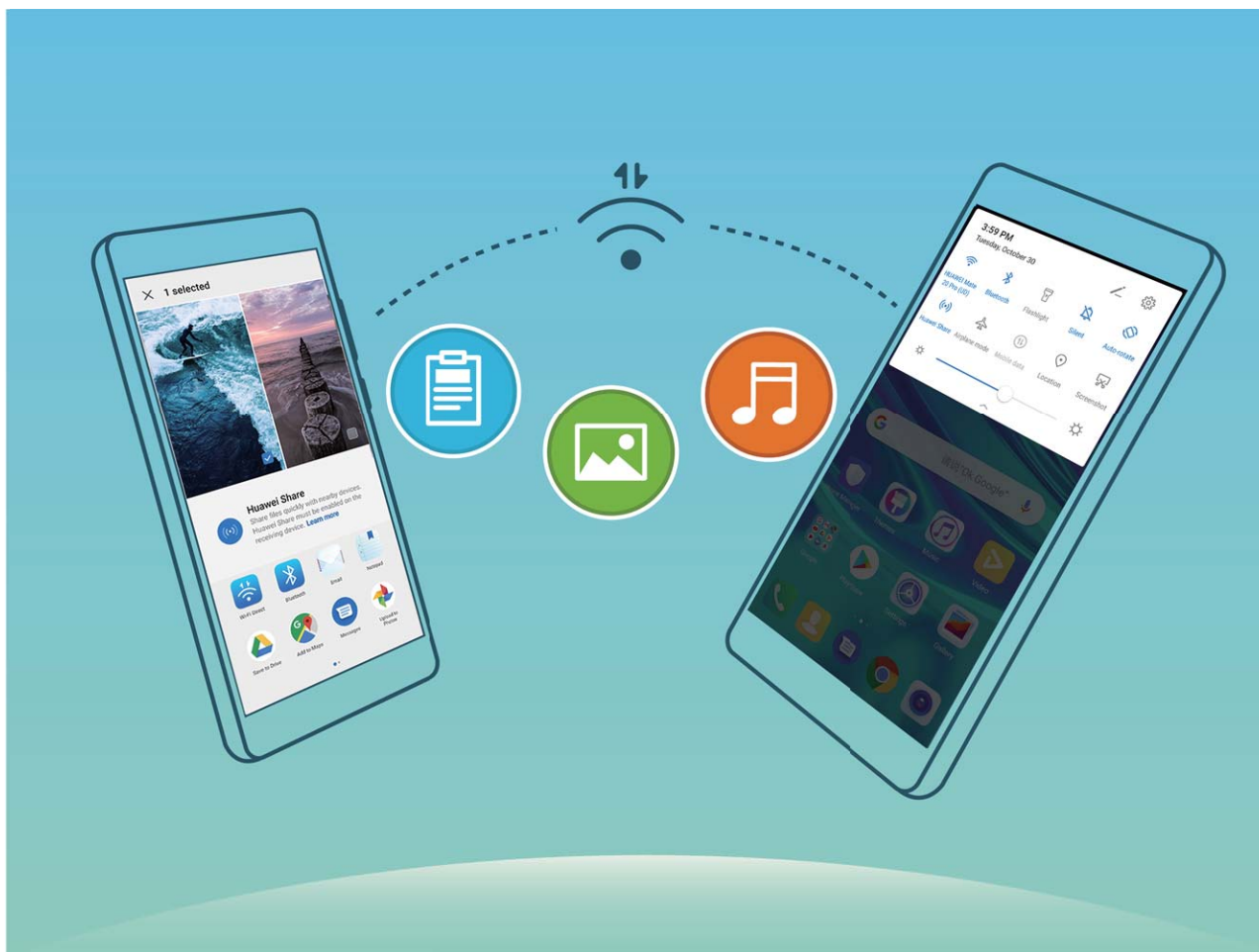
- i** 個人データや金融情報への不正アクセスなどの潜在的なセキュリティリスクを防ぐため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには十分な注意が必要です。



Wi-Fiネットワークへの接続:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。Wi-Fiネットワークをタップしてアクセスし、ネットワークパスワードを入力するか、必要に応じて認証情報を入力します。または、メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークを追加** をタップし、画面の指示に従ってネットワークアクセスポイントの名前とパスワードを入力し、そのポイントを追加します。

Wi-Fi Direct によるデータ転送

Wi-Fi Directでは、アンドロイド端末間でデータを迅速に転送できます。Wi-Fi DirectはBluetoothよりも高速であり、端末をペアリングする必要がありません。短い距離でサイズの大きいファイルを転送するのに適しています。



Wi-Fi Directでのファイルの送信:  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Wi-Fi Direct** に移動します。送信先の端末が検出されたら、その名前をタップします。接続が確立され、ファイル転送が始まります。

Wi-Fi Directでのファイルの受信: Wi-Fi を有効にします。Wi-Fi設定画面で  > **Wi-Fi Direct** をタップし、検出を有効にします。ファイル着信通知を受信したら、**受信** をタップして転送を開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **Wi-Fi Direct** フォルダ内の **ファイル** に保存されます。

インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

モバイルデータ通信経由での接続

- i** モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
 - 2 ⑪ をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
 - i** 電池の消費を節約し、データ使用量を減らすには、不要な場合はモバイルデータ通信を無効にします。

他の端末とのモバイルネットワークの共有

モバイルデータ通信を友人と共有することができます。



Wi-Fiアクセスポイントを使用したモバイルデータ通信の共有:  **設定** を開き、**無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** > **ポータブルWi-Fiアクセスポイント** > **アクセスポイントを設定** に移動します。Wi-Fiアクセスポイントの名前、暗号化タイプ、パスワードを設定してから **保存** をタップして、アクセスポイントを有効化して使用できるようにします。

- i** 共有モバイルデータ通信でのデータ通信量の上限の設定: **設定** > **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** > **ポータブルWi-Fiアクセスポイント** に移動し、**データ通信量の上限** をタップして、単一のセッションでのデータ通信量の上限を設定します。この上限に達すると、端末によってアクセスポイントが自動的に無効になります。

Bluetoothを使用したモバイルデータ通信の共有: Bluetoothを使用してご利用の端末を別の端末に接続してから、Bluetoothテザリングを有効にしてモバイルデータ通信を共有します。 **設定** を開いて、**無線とネットワーク > テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**Bluetoothテザリング** を有効にします。ペアリングした端末の **Bluetooth** 設定画面で、ペアリングした端末の隣にある  をタップし、**インターネットアクセス** を有効にしてインターネット接続を確立します。これにより、モバイルデータ通信を共有できるようになります。

USBを使用したモバイルデータ通信の共有: USBケーブルを使用して、端末をコンピュータに接続します。 **設定** を開き、**無線とネットワーク > テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**USBテザリング** を有効にして、モバイルデータ通信の共有を開始します。

 **i** お使いのコンピュータのOSによっては、この機能を使用する前に、デバイスドライバをインストールしたり、コンピュータ上に該当するネットワークを確立したりする必要があることがあります。詳細については、お使いのコンピュータのOSガイドをご参照ください。

アプリと通知

ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリ > ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しし、「閉じる」にドロップするとアンインストールの確認メッセージがポップアップされるので、OKをタップすると、ツインアプリ機能を無効にできます。

サウンドと表示

通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。

 **設定** を開いて、**サウンド > 通知の鳴動制限** に移動し、**通知鳴動制限モード** をタップして以下のいずれかのオプションを選択します。

- **重要な連絡先からの着信とメッセージの許可**: 優先度の高い通知のみ鳴動 を選択し、優先度の高い着信/通知を定義 をタップして、着信またはメッセージ送信を許可する連絡先を設定します。
- **アラーム通知の許可**: アラームの割り込みを許可するには、**アラームのみ** を選択します。
- **すべての鳴動の無効化**: 鳴動させない を選択してすべての着信音、バイブレーション、アラームを無効にし、さらに着信、メッセージ受信、アラームで画面が点灯しないようにします。
-  ● 通知の鳴動制限モードで優先的な割り込みやアラームが許可されていると、一部のサードパーティ製アプリが着信音を鳴らすことがあります。アプリ内の設定を使用して、そのようなアプリからの通知をミュートにしてください。

スケジュールルール: 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯** をタップして期間と繰り返しサイクルを設定し、**時間帯** を有効にします。

イベントルール: 会議やイベントの開催中に鳴動を制限します。**予定** をタップしてカレンダーの予定を設定し、**予定** を有効にします。

サウンドの設定

映画を観たり、ゲームをしたりするときには、端末のサウンド設定が自動的にステレオサウンドに切り替わって最適なオーディオ体験が実現します。着信音と音声リマインダー設定も状況に応じて調整できます。

システム音量の調整: 音量ボタンを押し、スライダーを動かすと、メディア音量を調整できます。または、 をタップして音声設定画面を表示し、着信音、メディア、およびアラーム音量を調整できます。

 また、システム設定でも音量を調整できます。 **設定** を開いて、**サウンド** をタップしてスライドし、音量を調整できます。

サウンドモード、バイブモード、サイレントモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。 をタップして、**サウンド モード**、**サイレント モード**、または **バイブ モード** に切り替えます。

キーパッドのタップ音と通知音の有効化:  **設定** を開き、**サウンド > その他のサウンド設定** に移動して、キーパッドのタップ音、スクリーンショット時の音、タップ操作バイブを有効または無効にできます。

端末をマナーモードに設定する: **サウンド** 画面から、**サイレント** を有効にし、**マナーモード時のバイブ** を有効にします。これにより、着信があったときに画面が点灯して端末が振動するようになります。

着信音と通知音のカスタマイズ: サウンド 画面から、好みに応じて着信音または通知音を選択できます。

目の疲れを防止するブルーライトカットモードの有効化

端末を長時間見つめていると、目が疲れたり痛くなったりすることがあります。ブルーライトカットモードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

ブルーライトカットモードの有効化:  **設定** を開いて、画面 > **ブルーライトカット** に移動し、**ブルーライトカット** を有効にします。ブルーライトカットモードアイコン  がステータスバーに表示されます。ブルーライトカットモードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

ブルーライトカットモードの簡単な有効化/無効化: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを展開し、 を有効/無効にします。

設定した時間にブルーライトカットモードを有効化: 毎日設定した時間にブルーライトカットモードが有効になるように端末を設定できます。ブルーライトカットモードが無効な場合、 **設定** を開き、画面 > **ブルーライトカット** に移動して**時間帯指定済み** を有効にします。次に、希望の **開始時間** および **終了時間** を設定します。

ブルーライトカットモードの色温度の調整: ブルーライトカットモードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整してください。**ブルーライトカット** を有効にすると、色温度スライダーを調整して、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

-  ● 端末を30分使用した後は、10分間目を休めてください。
- 目を休めている間は、遠くを見るようにして目のピント調整の筋肉を緩め、眼精疲労にならないようにしてください。
- 正しいアイケアを習慣にすることで、眼の負担を軽減でき、近視の予防になります。

その他の表示設定

ショートカットによるよく利用する機能へのアクセス

-  アプリアイコンを長押ししてもショートカットが作成されない場合、そのアプリはホーム画面へのショートカット作成に対応していません。
- 各アプリでは、最大4つのよく利用する機能へのアクセスに対応しています。これらはアプリによって事前に設定されているため、変更はできません。

よく利用するアプリ機能にすばやくアクセス: アプリアイコンを長押しして、よく利用する機能をタップしてアクセスします。たとえば、セルフィーを撮影するには、カメラアイコンを長押しして、ポップアップメニュー内の **セルフィー** をタップしてセルフィーのショートカットを作成します。

ショートカットをホーム画面に追加:ホーム画面でアプリアイコンを長押しすることで、メニューが起動します。ホーム画面に追加する機能を長押し、ホーム画面にドラッグすることでショートカットが作成されます。たとえば、カメラのセルフィー機能のショートカットをホーム画面に追加できます。

画面設定の変更

必要に応じて、端末上のフォントサイズを変更したり、画面の明るさを調整できます。



設定 を開いて **画面** をタップすると、以下の操作を行うことができます。

- **全画面表示:**その他の表示設定 > **全画面表示** に移動し、必要に応じてアプリが全画面モードで表示されるように設定します。
- **ノッチ表示設定:**その他の表示設定 > **ノッチ** に移動して、ノッチ表示設定を実行します。
- **画像とフォントサイズの変更:**テキストサイズと表示サイズ をタップし、スライダーを必要に応じてドラッグします。
- **縦画面と横画面の自動切り替え:**その他の表示設定 > **画面の自動回転** に移動し、スイッチをオンに切り替えます。または、ステータスバーを下にスワイプすると、ショートカットパネルが開くので、 を有効にします。
- **色温度の調整:**カラーモードと色温度 に移動します。システムが推奨するプリセットの **デフォルト**、**暖色**、または **寒色** オプションから選択できます。または、円上の任意の場所をタップするか、スポットをドラッグして色温度を手動で調整します。
- **画面解像度の自動調整:**画面の解像度 をタップし、**スマート解像度** を有効にします。そうすると、ご利用の端末が自動的に画面の解像度を調整し、消費電力を削減します。
- **スリープモードでの充電中にスクリーンセーバーを表示する:**その他の表示設定 > **スクリーンセーバー** に移動して、**スクリーンセーバー** を有効にします。次に、**写真** および **時間** を設定します。設定が完了すると、充電中にスリープモードに入った場合、端末には写真のスライドショーが表示されます。
- **ステータスバーで詳細情報を表示する:**その他の表示設定 をタッチしてから、好みに応じて **通信事業者名を表示** または **通信速度を表示** を有効にします。

スマートアシスタント

ユーザー補助

TalkBack による画面テキストの読み上げ

画面上で、タップ、選択、または有効化したコンテンツを端末が読み上げます。そうすることで、画面上のコンテンツを明確に読み取れない場合の端末操作が容易になります。

- 1  **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **TalkBack** >  に移動してTalkBack設定画面を開きます。
- 2 **TalkBack** を有効化し、**OK** をタップします。TalkBackを初めて有効にすると、端末でチュートリアルが起動します。チュートリアルをもう一度再生したい場合は、 をタップしてTalkBack設定画面を開き、チュートリアルを起動します。
- 3  をタップし、**タッチガイド** を有効にします。端末がタップした内容を読み上げます。

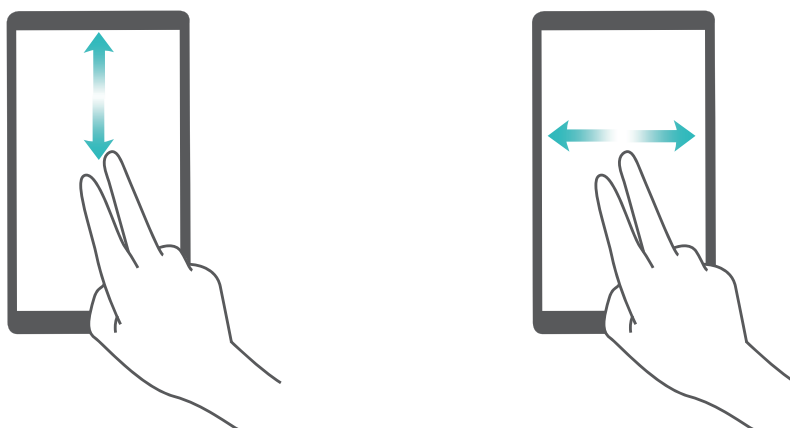
誤ってTalkBackを有効にしてしまう場合があります。TalkBackを無効にするには、電源ボタンを端末が振動するまで長押しし、2本の指で画面に触れて3秒以上そのままにします。

TalkBack のジェスチャーについて学習する

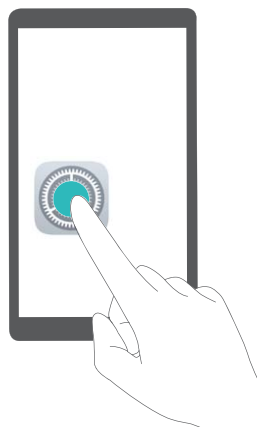
TalkBackでは、特別なジェスチャーのセットを使用します。TalkBackが有効な場合、端末を操作するにはこのようなジェスチャーが必要です。

-  **TalkBackを無効にするには**、電源ボタンを端末が振動するまで長押しし、2本の指で画面に触れて3秒以上そのままにします。

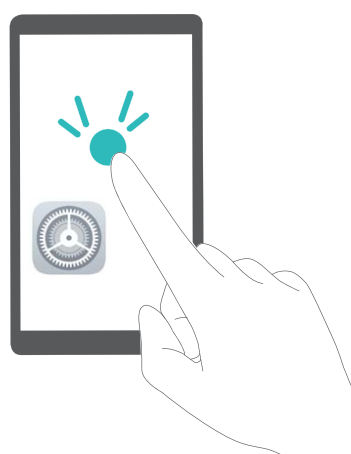
画面を操作する: 2本の指で上下にスワイプすると、メニューリストがスクロールします。左右にスワイプすると、ページ間や画面間で移動できます。



アイテムの選択: 1本の指でアイテムをタップして、選択します（アイテムは開きません）。端末で選択したアイテムの内容が読み上げられます。



アイテムを開く: 1本の指で画面をダブルタップして、前の手順で選択した内容を確定します。



たとえば、**設定** を開くには、**設定** アイコンを1本の指で1回タップしてから、画面上の任意の場所を2回タップします。

TalkBack でのテキスト読み上げの使用

テキスト読み上げ機能では、端末の画面に表示されているテキストが読み上げられます。この機能は、画面上のコンテンツをはっきりと読むことができない場合に、端末を操作しやすくするためにTalkBackと共に使用することもできます。

 **設定** を開いて、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** に移動し、**テキスト読み上げ** を有効にします。使用するエンジンと音声速度を設定します。

色補正を有効にする

色補正は、端末で色覚異常に関連する補正を行うことができます。

 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなることがあります。

 **設定** を開き、**スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動して、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

システム

入力方法の変更

好みに応じて、端末の入力方法を変更できます。

入力方法の切替:  **設定** を開いて、システム > 言語と文字入力 > デフォルトのキーボード に移動し、入力方法を選択します。

ナビゲーションメニューを使用して任意の場所から端末の機能にアクセスする

アプリを閉じたり、ホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。端末でナビゲーションメニュー機能を有効にすると、ナビゲーションボタンを使用せずに、端末を片手で快適に操作できるようになります。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー に移動し、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**: ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**: ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **バックグラウンドアプリの表示**: ナビゲーションメニューを長押ししてから、左右にスワイプすると、バックグラウンドで実行されているアプリが表示されます。

一般設定

システム言語の変更

必要に応じて、端末のシステム言語を変更することができます。

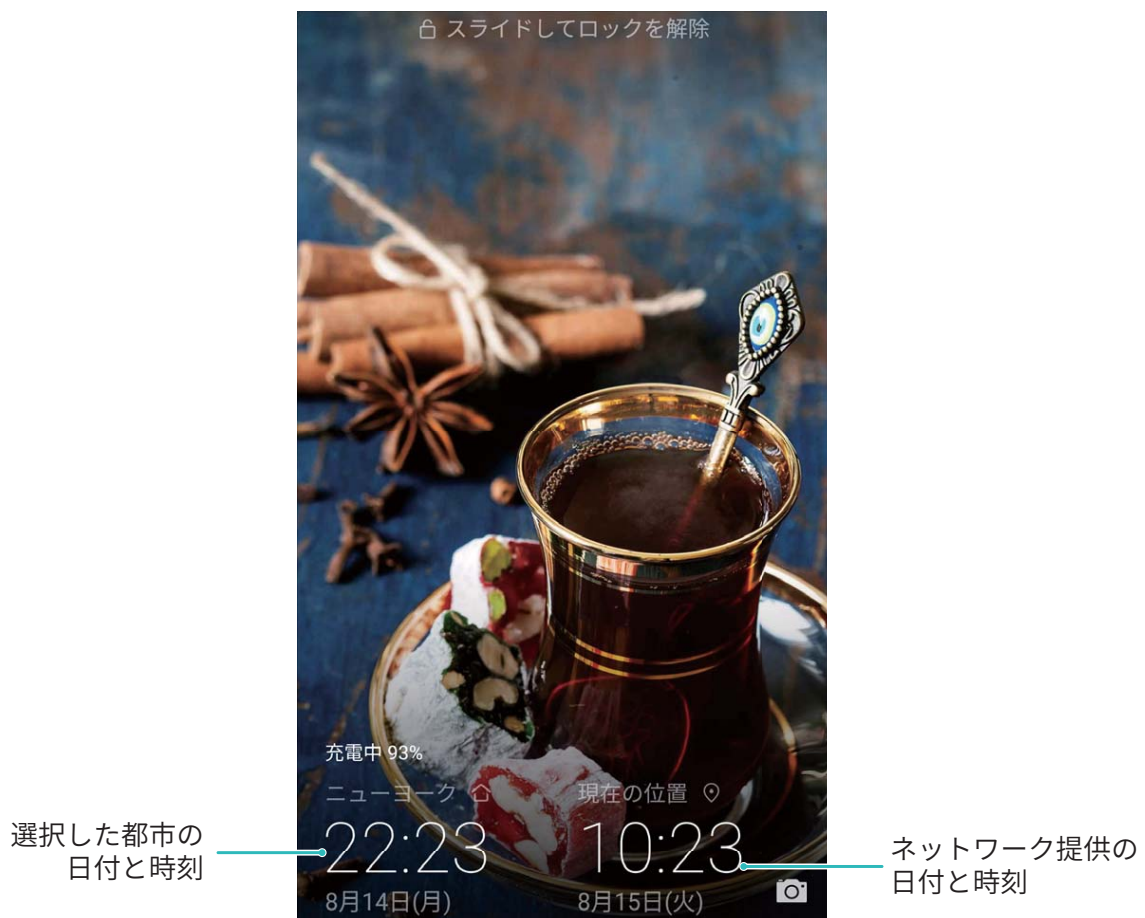
 **設定** を開き、システム > 言語と文字入力 > 言語 に移動して、使用する言語を選択します。使用する言語がリストされていない場合は、言語を追加 をタップして追加の言語を検索してください。

言語を追加 > 追加済み では、表示される言語は、言語と地域間の所属関係を示すものではありません。システムインターフェースは、選択した地域の慣習に従って表示されます。例えば、英語(ベトナム)を追加すると、言語は英語になりますが、カレンダーには、英国や米国の一般的な慣習に従って日曜日が週の最初の日として表示されるのではなく、ベトナムの慣習に従って、月曜日が週の最初の日として表示されます。

システムの日付と時刻の設定

海外への旅行時やSIMカードの変更時には、ご使用の端末に現地のモバイルネットワークから提供された日付と時刻が自動的に表示されます。手動で日付と時刻を調整したり、時刻形式を変更したり、ロック画面にデュアルクロックを設定したりすることもできます。

-  **設定** を開き、**システム > 日付と時刻** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。
- **日付と時刻の変更**: **自動設定** を有効にすると、端末の日付と時刻をモバイルネットワークと同期できます。**自動設定** を無効にすると、日付と時刻を手動で設定できます。
 - **タイムゾーンの変更**: **自動設定** を有効にすると、端末のタイムゾーンをモバイルネットワークのタイムゾーンと同期できます。**自動設定** を無効にすると、タイムゾーンを手動で設定できます。
 - **時刻形式の変更**: **24時間表示** を有効にすると、時刻形式を24時間に設定できます。**24時間表示** を無効にすると、時刻形式を12時間に設定できます。
 - **ロック画面でのデュアルクロック設定**: 自国以外でローミングしている場合は、ご使用の端末に現地のモバイルネットワークから提供された日付と時刻が自動的に表示されます。**デュアルクロック** を有効にし、**ホーム都市** を設定すると、ロック画面にデュアルクロックを表示できます。一方の時計には現地の時刻、もう一方の時計には自国の時刻が表示されます。



端末でのドキュメントや写真の印刷

端末をWi-Fi経由でプリンターに接続すると、ドキュメントや写真を簡単に印刷できます。

- Mopriaでは、端末からMopria認証プリンターに直接印刷できます。プリンターは端末にWi-Fi経由で接続します。
- ご利用のプリンターがMopria認証プリンターではない場合、プリンターメーカーからご利用のモデル用のプラグインを取得してください。

1 端末とプリンターを同じWi-Fiネットワークに接続します。

- **プリンターのアクセスポイントへの接続:** プリンターに無線アクセスポイントがある場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってアクセスポイントを有効にし、パスワードを設定します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてプリンターのアクセスポイントを選択し、画面の指示に従って接続を確立します。
- **Wi-Fi Directでの接続:** プリンターがWi-Fi Directに対応している場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってこの機能を有効にします。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にして  > **Wi-Fi Direct** をタップし、検出されたデバイスのリストから使用するプリンターを選択します。
- **ルーターへの接続:** プリンターのWi-Fiを有効にして宅内のルーターに接続します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてルーターを選択し、画面の指示に従って設定を完了します。

2 **設定** を開きます。デバイス接続 > 印刷 > デフォルト印刷サービス に移動して デフォルト印刷サービス が有効になっていることを確認します。検索結果からプリンターを選択して画面の指示に従い手動でプリンターを追加します。

3 これで端末から直接印刷できます。

- **画像の印刷:** ギャラリー に移動します。印刷したい画像を開き、**その他** > **印刷またはPDF出力** に移動して、画面の指示に従い画像をプリンターに送信します。
- **Webページの印刷:** 印刷したいWebページをブラウザで開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **ドキュメントの印刷:** オフィスアプリ等で印刷したいドキュメントを開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **メモの印刷:**  **メモ帳** を開きます。印刷したいメモを開き、**印刷** に移動して、画面の指示に従いメモをプリンターに送信します。

メモリおよびストレージのステータスの確認

長時間端末を使用すると、メモリとストレージがどのくらい残っているか心配になります。端末のメモリとストレージの情報を表示すると、メモリとストレージの使用状況を監視することができ、クリーンアップ実行の目安となります。

- 一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。

 **設定** を開いて **ストレージ** をタップし、メモリの使用状況を確認します。使用可能なストレージ容量に基づいて、適切なタイミングで空き容量を確保します。

空き容量の確保(推奨):クリーンアップを選択すると、アプリの使用状況の詳細を表示できます。また、スキャン結果に基づき、推奨に従ってシステムのクリーンアップを実行したり、対象を指定してクリーンアップを実行したりできます。

システム更新

オンラインによる端末システムの更新

ご利用の端末では、システム更新が利用可能になると、そのシステム更新のダウンロードとインストールを要求するメッセージが表示されます。オンライン更新は安全で便利です。

-  ● 更新をインストールする前に、端末をインターネットに接続します。オンライン更新は、データ通信量を消費するため、更新時には端末をWi-Fiネットワークに接続することをお勧めします。
- 更新中は、電池の残量が30%を超えていることを確認してください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報危険にさらされたりする可能性があります。端末は、オンラインで更新するか、端末と購入証明書を正規のファウエイカスタマーサービスセンターにお持ちいただいて更新するようにしてください。
- システム更新後、個人データが削除される場合があります。端末を更新する前に、重要なデータを必ずバックアップしてください。
- 更新後、電子バンキングやゲームアプリなどの特定のサードパーティ製アプリは、新しいシステムとは互換性がない可能性があります。互換性の問題を解決するためには、そのようなサードパーティ製アプリを定期的に更新してください。

1  **設定** を開きます。

2 **システム > ソフトウェア更新** に移動します。

端末の更新には、しばらく時間がかかります。更新中は何もしないでください。更新後、端末は自動的に再起動します。

法律上の注意事項

法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2019. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

商標と許可



HUAWEI、HUAWEI と  はHuawei Technologies Co., Ltdの商標または登録商標です。

Android™はGoogle LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltdによるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™



および

Qualcomm® aptX™ HD



はQualcomm Inc. (NASDAQ: QCOM) の登録商標

です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に関しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果（ソフトウェアと本製品の非互換性など）に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合もあります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む（ただしこれらに限定されない）明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲（この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない）は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

個人情報とデータセキュリティ

本端末で一部の機能またはサードパーティ製アプリケーションを使用した結果、個人情報やデータが失われたり、第三者によるアクセスが可能になってしまう恐れがあります。個人情報を保護するために、以下に示す措置を講じることをお勧めします。

- 本端末を安全な場所に置いて、不正に利用されないようにします。
- 本端末上で画面ロックを設定し、そのロックを解除するパスワードやロック解除パターンを作成します。

- 個人情報をSIMカード、メモリカード、または本体のメモリに定期的にバックアップします。別の端末に変更する場合、必ず以前の端末の個人情報を移動または削除します。
- サードパーティ製アプリケーションは必ず正規の場所から入手してください。ダウンロードした他社製アプリケーションに対して、ウイルスチェックを実行してください。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。
- 一部のアプリケーションでは位置情報の要求や送信を実行します。結果的に、サードパーティが位置情報を共有することができる場合があります。
- サードパーティ製アプリケーション提供者のなかには本端末の検出情報や診断情報を収集する場合がありますが、これは自社の製品やサービス向上のために使用されます。
- Huaweiや正規のサードパーティ製アプリケーション提供者がリリースしているセキュリティソフトやパッチをインストールしてください。
- 非公式のサードパーティ製ソフトを使用して更新すると、端末が故障したり、個人情報が危険にさらされる可能性があります。ご利用の端末のオンラインによる更新機能から更新するか、Huaweiの公式ウェブサイトから該当する製品モデルの正規の更新パッケージをダウンロードすることをお勧めします。

ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<https://consumer.huawei.com/jp/> を参照してください。

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む（ただしこれらに限定されない）実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

【重要】

本端末で最後にログインした「Googleアカウント」を忘れないようにしてください。

本端末には、他人に無断で使用されないように端末を保護することを目的として、Googleアカウントによる「端末保護機能」が搭載されております。

工場出荷設定への復元やSDカードを使用した更新などを行う際に、本端末で最後にログインしたGoogleアカウントの入力が必要になる場合があります。

Googleアカウントを忘れた場合、有償修理（保証期間内含む）が必要となりますのでご注意ください。

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、<https://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

モデル: MAR-LX2J

EMUI 9.0.1_01

Qualcomm[®]
aptX[™]

